# 要 覧 2022

福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)
LIFE-LONG LEARNING & WOMEN'S CENTER

要覧2022
福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)

# はじめに

福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）は、平成７年７月、女性総合センターと生涯学習センターの機能を併せ持ち、さらに県民の活動、交流の場としての貸館事業も行う複合施設として開館しました。以来、多くの方々にご利用いただいており、深く感謝申し上げます。

女性総合センターとしては、男女共同参画社会および女性活躍社会の実現に向け、各種講座・セミナーの開催、地域リーダーの育成、企業においての女性活躍推進のほか、「ふくい女性活躍支援センター」の機能を強化し、働く女性、働きたい女性をワンストップで応援しています。また、昨年からは、悩みを抱える女性のための居場所「ふくいウイメンズ・オアシス」を開設し、女性が抱える様々な不安や悩みに寄り添ったきめ細やかな支援を行っています。

一方、生涯学習センターとしては、生涯にわたる学習を促進するため、福井ライフ・アカデミーを開講し、多様な主催・共催・連携講座を提供しています。今年度も、本県の魅力、優位性、独自性とその活かし方を学ぶ「ふるさと未来講座」、現地学習を通して本県が誇る先進技術や伝統技術、自然や歴史、文化等を学ぶ「ふるさと探究講座」を中心に、県民のニーズをとらえた様々な学びの機会を提供できるよう、講座内容の充実に努めます。なお、「ふるさと未来講座」においては、オンラインによる若狭図書学習センターとの同時配信を行い、受講機会の拡大に努めてまいります。

また、県内の生涯学習関連情報をオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称「まなびぃネットふくい」）」は、昨年度、年間２２万件のアクセスをいただきました。引き続き、掲載情報を拡充し、皆様に親しまれるシステムを目指してまいります。

今後も、県民の皆様に安心してご利用、ご参加いただけるよう、また、いつまでも親しまれ、必要とされる生活学習館であり続けられるよう努めてまいりますので、ご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ここに、「要覧２０２２」を発行いたしました。ご一読いただければ幸いです。

令和　４年　５月

福井県生活学習館
館長　　吉　岡　　史　郎

# 目 次

Ⅰ 運 営 方 針 …… 1

Ⅱ 主要機能と事業 …… 1

Ⅲ 沿 革 …… 2
1 男女共同参画推進事業 …… 2
2 生涯学習推進事業 …… 3

Ⅳ 事 業 概 要 …… 4
1 令和４年度事業体系 …… 4
男女共同参画推進事業 …… 4
生涯学習推進事業 …… 5
（生涯学習推進事業のうち「福井ライフ・アカデミー」体系） …… 6
2 令和４年度事業計画 …… 8
男女共同参画推進事業 …… 8
生涯学習推進事業 …… 9
3 令和３年度事業実績 …… 14
男女共同参画推進事業 …… 14
生涯学習推進事業 …… 20
4 施設利用状況 …… 29
5 ふくい女性活躍支援センター利用状況 …… 30
6 ふくい女性活躍支援センター嶺南出張相談会の利用状況 …… 31
7 ふくいウイメンズ・オアシスの利用状況 …… 32
8 女性総合相談・ＤＶ被害者相談の利用状況 …… 33
9 生涯学習に関する相談等の状況 …… 34
10 人材の登録状況 …… 35
11 オンラインによる情報提供 …… 36
12 視聴覚教材、機器、図書 …… 38

Ⅴ 施 設 概 要 …… 40
1 建築概要 …… 40
2 施設配置図 …… 40

関 係 資 料
⑴ 福井県生活学習館の設置および管理に関する条例 …… 43
⑵ 福井県生活学習館の設置および管理に関する条例施行規則 …… 46
⑶ 福井県行政組織規則 …… 48
⑷ 福井県教育委員会行政組織規則 …… 49
⑸ 福井県映像ライブラリー備付教具教材使用規則 …… 49
⑹ 福井ライフ・アカデミー設置要綱 …… 51
⑺ 福井ライフ・アカデミー事業実施要領 …… 52
⑻ 福井ライフ・アカデミー運営委員会開催要領 …… 52
⑼ 令和４年度福井ライフ・アカデミー共催講座 実施要領 …… 53
⑽ 福井ライフ・アカデミー連携事業 実施要項 …… 54
⑾ 福井ライフ・アカデミー共催講座協議会 開催要領 …… 55

# 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）

名　称　福井県生活学習館（愛称　ユー・アイ ふくい）
所在地　福井市下六条町１４－１
開　設　平成７年７月１日

## Ⅰ　運営方針

生活学習館（ユー・アイ ふくい）は、「男女が共に参画する社会の実現」と「いつでも、どこでも、誰でも学べる生涯学習社会の推進」の２つを目的に、県民が集い、活動し、表現し、そして交流する場と機会を提供する複合施設として整備されたものであり、次のような特色を念頭に運営しています。

◎　広く県民に開放し、生涯にわたるあらゆる分野の学習・文化活動の支援
◎　女性の自立と社会参画を促進し、男女が共に築く社会づくりを目指した活動の支援
◎　県民一人ひとりあるいはグループ、団体相互の出会い、ふれあいの場の提供
◎　社会情勢の変化に対応した新鮮な情報の提供と、ふるさとの歴史や風土に即した事業の展開

## Ⅱ　主要機能と事業

「ユー・アイ ふくい」には下記の５つの機能があり、それぞれに対応した事業を展開しています。

◎　企画・相談機能
事業の総合企画や広報誌の発行、生涯学習相談、女性総合相談、女性の社会参加支援

◎　交流支援機能
イベントの開催や学習グループ、ボランティア活動団体等への場の提供などを通じた各種交流の支援

◎　学習・研修機能
男女共同参画社会形成に向けた講座の開催や、福井ライフ・アカデミーによる講座・講演会の開催を始めとする様々な学習・研修機会を提供

◎　情報提供機能
県・市町や県内の社会教育機関・団体等が主催する講座等の情報をだれもがいつでもどこでも手軽に入手できる「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」の運用を柱とした各種情報の提供ならびに図書・情報誌やＤＶＤ等情報メディアの設置・貸出しと活用支援

◎　調査、研究機能
通年で行う学習ニーズ調査を始め、必要に応じて各種意識調査や専門研究を実施

## Ⅲ　沿　革

### １　男女共同参画推進事業

| | |
|---|---|
| 平成 ３．12 | 生活学習館（仮称）基本計画を策定（青少年女性課、生涯学習課）<br>－女性総合センターと生涯学習センターの複合施設として－ |
| 平成 ６．１ | 福井県女性対策地域リーダー養成講座（ふくい女性ソフィア）標準コース開講 |
| 平成 ７．１ | 正式名称「福井県生活学習館」、愛称「ユー・アイ ふくい」を発表 |
| 平成 ７．３ | ふくい女性ソフィア専門コース開講 |
| 平成 ７．７ | 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）開館 |
| 平成 ７．10 | ふくい女性大学開講（翌年　若狭図書学習センターでも開講） |
| 平成 ８．２ | ふくい女性ソフィア総合コース開講 |
| 平成 10．３ | ふくい男女共同参画プラン（男女共同参画社会の実現をめざす２１世紀県内行動計画）策定 |
| 平成 11．６ | 「男女共同参画社会基本法」施行 |
| 平成 12．10 | 生活学習館開館５周年記念「ユー・アイふくいフェスタ」開催 |
| 平成 13．10 | 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（ＤＶ防止法）」施行 |
| 平成 14．４ | 「福井県男女共同参画計画」策定 |
| 平成 14．４ | 生活学習館を配偶者暴力被害者支援センターと位置づけ |
| 平成 14．５ | 「ゆー・あいカレッジ」開講 |
| 平成 14．11 | 「福井県男女共同参画推進条例」施行 |
| 平成 16．12 | 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な方針（国の基本方針）」策定 |
| 平成 17．７ | 生活学習館開館１０周年記念「ユー・アイふくいフェスティバル」開催 |
| 平成 18．３ | 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」策定 |
| 平成 18．12 | 「福井県男女共同参画計画」改定 |
| 平成 19．８ | 女性活躍支援センター開設 |
| 平成 21．３ | 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」改定 |
| 平成 24．３ | 「第２次福井県男女共同参画計画」策定 |
| 平成 26．３ | 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」改定 |
| 平成 26．４ | 男女共同参画推進事業を公益財団法人ふくい女性財団へ全面委託 |
| 平成 26．６ | 女性活躍支援センターをリニューアル（機能強化） |
| 平成 27．３ | 女性活躍支援センターにおいて職業紹介事業を開始 |
| 平成 27．９ | 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」施行 |
| 平成 29．３ | 「第３次福井県男女共同参画計画」策定 |
| 平成 31．３ | 「配偶者暴力防止および被害者保護等のための福井県基本計画」改定 |

令和 ３．８　生活学習館に不安を抱えた女性のための居場所「ふくいウイメンズ・オアシス」を開設

令和 ４．３　ふくい“しあわせ実感”パートナープラン　～第４次福井県男女共同参画計画～策定

## ２　生涯学習推進事業

昭和 54．３　社会教育センター調査研究会が「福井県生涯学習センター基本構想に関する報告書」を福井県教育長に提出

昭和 57．３　福井県生涯学習センター発足

昭和 57．10　福井県生涯学習センター設置

昭和 59．５　生涯学習大学連絡協議会設置

昭和 63．４　福井県生涯学習センターを知事部局から教育庁へ移管

平成 ３．７　福井ライフ・アカデミー設立準備委員会設置

平成 ３．７　福井県生涯学習センター（新センター）整備検討委員会設置

平成 ３．11　「福井ライフ・アカデミー基本構想」策定

平成 ４．８　福井ライフ・アカデミー開校式（８月４日）

平成 ５．７　福井ライフ・アカデミー開講１周年記念「生涯学習推進のつどい（マナビ・フェスティバル）」開催（７月１３日）

平成 ７．６　生涯学習センター学習室（県民会館）閉鎖

平成 ７．７　福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）開館

平成 ７．10　県立図書館若狭分館に生涯学習推進機能を持たせ、名称を「若狭図書学習センター」に改称

平成 ７．11　「生涯学習推進のつどい（マナビ・フェスティバル）in 小浜」を開催

平成 11．４　福井県生涯学習大学開放講座協議会を設置

平成 12．10　生活学習館開館５周年記念「ユー・アイふくいフェスタ」開催
（特別企画「岡倉天心と日本人の心」ほか）

平成 14．１　「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」運用開始

平成 17．７　生活学習館開館１０周年記念「ユー・アイふくいフェスティバル」開催
（同時開催「北陸三県生涯学習ボランティア講師交流会」ほか）

平成 19．10　「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」をリニューアルし、運用開始（愛称　ユー・アイふくいネット）

平成 21．９　福井ライフ・アカデミー　入学生総数１万人を達成

平成 27．７　高校生以下を対象とした「子どもカード」を発行し、子ども独自の単位認定を開始

平成 29．３　福井ライフ・アカデミーの単位認定制度を終了

平成 29．４　「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」をリニューアルし、運用開始（愛称　まなびぃネットふくい）

# Ⅳ　事業概要

## 1　令和４年度事業体系

### （１）男女共同参画推進事業

**女性のエンパワーメントと活躍社会づくり**

**1　男女共同参画学習事業**

（１）ゆー・あいカレッジ

【男女パートナーシップ推進コース】

①指導者養成講座　②地域連携講座

③教育連携講座　④県民活動支援講座

【次世代育成コース】

①次世代育成セミナー（中学生）

②高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」

【働く女性のキャリアアップ応援コース】

①キャリアアップ応援講座

②女性の再就職等チャレンジ支援セミナー

【企業における女性活躍推進コース】

①キャリア・アカデミー

②女性リーダーサポート講座

③企業連携講座（企業への講師派遣研修）

【家事・育児参画コース】

①新米パパ・ママ応援講座

**2　女性活躍支援センター事業**

（１）女性キャリア相談（女性キャリア相談員）

（２）女性のための研修

（３）働く女性のネットワークづくり

（４）女性の再就職支援、職業紹介（就職支援指導員、マッチングアドバイザー）

（５）保育所・子育て相談（保育コンシェルジュ）

（６）雑誌、図書等の整備および情報収集・提供

**3　女性総合カウンセリング事業**

（１）一般相談・ＤＶ被害者相談（女性総合相談員）

（２）特別相談（弁護士、臨床心理士）

**4　配偶者暴力被害者支援センター事業**

（１）スーパーバイザーの設置

（２）ステップハウスの提供

**5　ふくい女性つながりサポート事業**

（１）ピアサポートサロンの開催、不安を抱えた女性の居場所づくり

（２）ふくい女性活躍支援センター出張相談の実施

（３）生理用品の配布

**6　ふくいきらめきフェスティバル開催事業**

**7　情報の収集・提供等**

（１）図書の整備および貸出し

## （２）生涯学習推進事業

**生涯学習社会の創造**

### １　指導者の養成事業

（１）社会教育・生涯学習指導者研修

### ２　福井ライフ・アカデミー事業

（１）主催事業

（２）共催事業　…　市町が実施（費用、広報等を支援）
※企画・実施に関しては、県内の大学・短期大学・高等専門学校が支援

（３）連携事業　…　県内の各機関・団体等が実施（広報等を支援）

### ３　学習活動の促進事業

（１）学習グループ支援

### ４　映像ライブラリー事業

（１）視聴覚機器、教材の整備および貸出し

### ５　情報の収集・提供、相談事業

（１）生涯学習情報ネットワークシステムの運営

（２）生涯学習相談員の配置

（３）青少年教育テレビ放送事業「キラリ！福井っ子」の放送

（４）「学びの道しるべ」の発行

（５）「福井ライフ・アカデミーニュース」の発行

# 福井ライフ・アカデミー体系表

## 【基本的理念】

人と地域を未来につなぐ
学習機会の提供

ふるさと福井への誇りと
愛着を育むとともに、
学びを地域で活かす学習
機会を提供

学習機会の充実

学習の場の拡充
学習時間帯の拡充
情報提供の拡充

学習内容の充実

多岐にわたる学習分野
アカデミックな内容
タイムリーな内容
体験型の内容

学習成果の活用

学習者自身や地域社会の
発展・向上に寄与

## 【福井県生活学習館】
（ユー・アイ ふくい）

**福井ライフ･アカデミー本部**

・学　長　―　知　事
・副学長　―　教育長・地域戦略部長

≪事務局≫
・事務局長
　　県生涯学習センター所長
・事務局員
　　県生涯学習センター職員
　　若狭図書学習センター職員

≪運営委員会≫　１０名
・学識経験者
・実施機関代表
・学習者代表

主 催 事 業

共 催 事 業

連 携 事 業

学習分野

教育一般
人間・社会・歴史
自然科学・環境
産業・技術
芸術・文化
スポーツ・レクリエーション
家庭生活・趣味
ボランティア
市民生活・国際
男女共同参画

## 【実施機関】

福井県生涯学習センター
若狭図書学習センター

市町生涯学習センター
公民館　等

大学
短期大学
工業高等専門学校　等

県の他の部局
県立の施設
市町の他の部局
市町立の施設

関係団体・グループ

# 福井ライフ・アカデミー講座体系

**福井ライフ・アカデミー**

人と地域を未来につなぐ学習機会の提供

| 【目　的】 | 【重点項目】 | 【講座名】 |
|---|---|---|
| 県民が、本県が目指す未来像を理解し、福井県民としての自信と誇りを持ち、希望と活力あふれるふるさとづくりの主役であるという意識で行動できるよう、様々な学びの機会を提供する | ・歴史、経済・産業、芸術・文化など幅広い分野で、本県の魅力、優位性、独自性とその活かし方を学ぶ<br>・共生社会を目指すうえで本県が直面している現代的課題をテーマに取り上げ、その深層に迫る<br>・地域づくりにおける先進地の取組みを学び、本県に活かす | ふるさと未来講座<br>◦ 歴史<br>◦ 自然科学<br>◦ 経済・産業<br>◦ 芸術・文化<br>◦ 現代社会<br>◦ 地域づくり |
| ふるさと福井の魅力ある地域資源に直に触れることで、郷土に対する愛着や誇りを育むことができるよう、体験型の学びの機会を提供する | ・本県が誇る先進技術や伝統技術等を体験を通して学び、その独自性や優位性について理解を深める<br>・本県の自然、歴史や文化等を現地見学を通して学び、その魅力や価値について理解を深める<br>・県内の地域づくりの先進的な取組みについて、現地での体験を通して学ぶ | ふるさと探究講座<br>◦ 先進技術や伝統技術に触れる<br>◦ 自然を体感する<br>◦ 歴史や文化を見て学ぶ<br>◦ 地域を見てまちづくりを考える |
| 視聴覚教材の有効活用を図るため、定期的に上映会を実施する | 県民に、珠玉の作品を鑑賞する機会を提供し、日々の生活に潤いをもたらす一助とする | ゆうあいシアター<br>◦ 文化・芸術<br>◦ 自然・社会<br>◦ 子ども・家族向け |
| 多様化、高度化する県民の学習意欲に応えるとともに、地域振興等の効果的な推進に寄与する | 県内高等教育機関の協力のもと、市町の実情やニーズに合わせた内容の講座を市町と協力して開催する | 共催講座 |

連携講座

## ２　令和４年度事業計画

### （１）男女共同参画推進事業

１　男女共同参画学習事業　ゆー・あいカレッジ

| コース名・講座名 | | 目的・内容 | コマ数 | 開催月 |
|---|---|---|---|---|
| 男女パートナーシップ推進コース | 指導者養成講座 | 地域のリーダーとして男女共同参画を推進する人材を育成するため、必要な知識や技能を学ぶ講座を開催する。 | 4 | ８月～３月 |
| | 地域連携講座 | 地域社会における男女共同参画が推進するよう、公民館等が開催する研修に講師を派遣し支援する。 | 7 | 通年 |
| | 教育連携講座 | 教育関係者が男女共同参画に対する理解を深め、子どもたちと適切に関わることができるよう、勉強会等に講師を派遣し支援する。 | 6 | 通年 |
| | 県民活動支援講座 | 各層の男女共同参画が推進するよう、県内のグループや団体が企画・運営する勉強会等に講師を派遣し支援する。 | 3 | 通年 |
| 次世代育成コース | 次世代育成セミナー（中学生） | 中学生に対し、社会に存在する固定的性別役割分担意識に捉われることなく将来の職業や生き方を選択できるよう、必要な知識や先輩の体験談などを学ぶ機会を提供する。 | 4 | ７月～３月 |
| | 高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」 | 女子高校生が、性別ではなく自身の興味や適性によって自由に進路を選択、チャレンジできるよう、特に理系分野で活躍しているロールモデルからアドバイスを受ける機会を提供する。 | 2 | ７月～12月 |
| 働く女性のキャリアアップ応援コース | キャリアアップ応援講座 | 女性が、ステップアップしながら働き続けられるよう、キャリア形成に役立つ知識やスキルを学ぶ機会を提供する。 | 10 | ５月～１月 |
| | 女性の再就職等チャレンジ支援セミナー | 出産・育児や介護等で離職した女性が円滑に再就職できるよう、必要な知識や情報を提供し支援する。 | 4 | ６月～２月 |
| 企業における女性活躍推進コース | キャリア・アカデミー | 企業の中でリーダーとして活躍できる女性人材を育成するため、資質や意欲を向上できる機会を提供し支援する。 | 12 | ７月～９月 |
| | 女性リーダーサポート講座 | 女性部下を持つ管理職を対象に、女性人材育成のための意識改革やスキルを学ぶ機会を提供する。また、働く女性支援のため男性が家庭支援のスキルや知識を身に付ける機会を提供する。 | 4 | 10月～11月 |
| | 企業連携講座 | 企業が、社員を対象として、働き方の改革や女性人材の活躍支援を図るための研修を行う場合に、講師を派遣し支援する。 | 5 | ８月～３月 |
| 家事・育児参画コース | 新米パパ・ママ応援講座 | 子育て中の夫婦が、協力して家事・育児を行うとともに、楽しんで子育てを続けることができるよう、スキルや知識を身に付ける機会を提供する。 | 4 | ７月～10月 |

（※１コマは９０分～１２０分）

２　ふくいきらめきフェスティバル開催事業

| 事　業　名 | 内　容 | 開催日・会場 |
|---|---|---|
| ふくいきらめきフェスティバル２０２２ | 男女共同参画社会の実現に向け、各世代の男女県民が集い、体験や発表、学習などを通して交流する。 | ６月１８日<br>パレア若狭 |

## （２）生涯学習推進事業

### １　指導者の養成事業

| 事業名 | 内　容 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|
| 社会教育・生涯学習指導者研修 | 業務またはボランティアで社会教育や生涯学習に携わる者が、地域社会の課題等に適切に対応し、社会教育や生涯学習の指導者として期待される役割を十分に果たせるよう、必要な知識や情報、技能等を身に付ける研修機会を提供する。 | １０月 |

### ２　福井ライフ・アカデミー事業

（１）主催事業

福井ライフ・アカデミー本部が企画し、生活学習館または若狭図書学習センターを主会場として実施する事業。

| 講座名 | 目的 | 分野・内容等 | 回数 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|---|---|
| ふるさと未来講座 | 県民が、本県が目指す未来像を理解し、福井県民としての自信と誇りを持ち、希望と活力あふれるふるさとづくりの主役であるという意識で行動できるよう、様々な学びの機会を提供する | 生活学習館が企画、実施 | | |
| | | 歴史 | 3 | ８月～１月 |
| | | 自然科学 | 3 | ７月～11月 |
| | | 経済・産業 | 3 | ５月～12月 |
| | | 芸術・文化 | 3 | ７月～１月 |
| | | 現代社会 | 3 | ９月～２月 |
| | | 地域づくり | 3 | ７月～10月 |
| | | 若狭図書学習センターが企画、実施 | | |
| | | 芸術・文化 | 2 | ７月～10月 |
| | | 現代社会 | 2 | ６月～８月 |
| | | 歴史 | 1 | ７月～９月 |
| | | 自然科学 | 1 | ９月～12月 |

| 講座名 | 目的 | 分野・内容等 | 回数 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|---|---|
| ふるさと探究講座 | ふるさと福井の魅力ある地域資源に直に触れることで、郷土に対する愛着や誇りを育むことができるよう、体験型の学びの機会を提供する | 生活学習館が企画、実施 | | |
| | | 福井の農業技術の最先端に迫る<br>～新品種開発からスマート農業まで～ | 1 | ８月 |
| | | 北潟湖の生物多様性の魅力に迫る | 1 | ８月 |
| | | 若狭ものづくりの里を巡る | 1 | 10月 |
| | | 若狭図書学習センターが企画、実施 | | |
| | | 海をいかす | 1 | ７月～10月 |
| | | 紙を学ぶ | 1 | 10月～12月 |

| 講座名 | 目的 | 分野・内容等 | 回数 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|---|---|
| ゆうあいシアター | 視聴覚教材の有効活用を図るため、定期的に上映会を実施する<br><br>※生活学習館のみで実施 | 生活学習館が企画、実施 | | |
| | | 上映作品「サクラサク」 | 4 | ４月 |
| | | 〃　「映像で親しむ　日本の森」 | 4 | ６月 |
| | | 〃　夏休みこどもシアター(上映作品未定) | 4 | ８月 |
| | | 未定 | | 10月 |
| | | 〃 | | 12月 |
| | | 〃 | | ２月 |

## （２）共催事業

「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」に基づき市町が企画、実施する事業で、福井ライフ・アカデミー本部が費用や広報を支援する。

| 市　町 | テーマ・講師 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|
| 福井市 | 福井県はなぜ幸福度日本一？<br>福井県立大学　地域経済研究所　准教授　杉山　友城 | ６月 |
| | 自己肯定感を高め、あきらめない心を育むポジティブな子育て<br>福井県立大学　看護福祉学部　教授　吉弘　淳一 | ６月 |
| | 福井における雪氷冷熱利用の現状と課題<br>福井大学　工学部　建築・都市環境工学科　助教　寺﨑　寛章 | ７月 |
| | 知っていますか　薬の常識・非常識<br>敦賀市立看護大学　教授　山崎　弘美 | ９月 |
| 敦賀市 | パパになる前に知っておきたい子育て知識（予定）<br>講師は調整中 | １０月～１１月 |
| | 携帯電話やスマートフォンを用いた介護予防の実践（予定）<br>講師は調整中 | １０月～１１月 |
| 小浜市 | 「小浜西組重要伝統的建造物群保存地区の散策」<br>若狭の語り部　羽野　二郎・畑田　剛・鈴木　治・松木　憲司 | ５月 |
| | 御食国の広がりについて（予定）<br>講師は調整中 | １０月 |
| | 体力テストと健康について（予定）<br>講師は調整中 | １０月 |
| 大野市 | 記憶の不思議<br>仁愛大学　教授　杉島　一郎 | ７月 |
| | いつまでも健康でいるために<br>～人生100歳時代のための体力増強～（予定）　講師は調整中 | ９月 |
| | 認知症になりにくいライフスタイル（予定）<br>講師は調整中 | １１月 |
| 勝山市 | 経ヶ岳が崩れた（予定）<br>講師は調整中 | ７月～８月 |
| | 褥瘡（とこずれ）および皮膚が破れたり裂けてしまうことの予防と治療（予定）　講師は調整中 | ７月～８月 |
| | 家族で科学実験教室（予定）<br>講師は調整中 | ７月～８月 |
| | 親子でかけっこ教室～速く走れるようになりたい～（予定）<br>講師は調整中 | ９月～１０月 |
| あわら市 | 今さら聞けない大人のコミュニケーション講座（予定）<br>講師は調整中 | ７月 |
| | 性の多様性～「LGBT」ってなんだろう～（予定）<br>講師は調整中 | ８月 |
| | イザッという時の為の防災管理術（予定）<br>講師は調整中 | ９月 |
| | 知って得する健康獲得法（予定）<br>講師は調整中 | １２月 |

| 市　町 | テーマ・講師 | 開催（予定）月 |
|---|---|---|
| 越前市 | ふしぎなでんき～電気実験の自由研究～（予定）<br>講師は調整中 | ８月 |
| | データサイエンスの誘い（予定）<br>講師は調整中 | １０月 |
| | 防災力アップ！災害から生き残る能力を養う（予定）<br>講師は調整中 | １１月 |
| | 新しい食を学ぼう！代替肉って何だろう？（予定）<br>講師は調整中 | ３月 |
| 坂井市 | 「被災地から学び、災害に備える」<br>福井大学医学部　助教　酒井　彰久 | ７月 |
| | お庭の雑草管理について（予定）<br>講師は調整中 | ９月 |
| | シナプロソジー体操　笑顔で楽しく、脳いきいき　！（予定）<br>講師は調整中 | １１月 |
| | 心の健康について考える（予定）<br>講師は調整中 | １２月 |
| 永平寺町 | みんなで考える「性の多様性」（予定）<br>講師は調整中 | ６月 |
| | 顔学～顔が元気、心が元気～（予定）<br>講師は調整中 | ９月 |
| 南越前町 | 良い睡眠でこころも体も元気に<br>福井大学医学部　教授　小坂　浩隆 | ７月 |
| | 免疫力アップの秘訣～動いて笑ってご機嫌な毎日を過ごそう～<br>敦賀市立看護大学　准教授　前川　直美 | ８月 |
| 越前町 | マジック（手品）で学ぼう！人間の不思議な特徴　～マジックと心理学～<br>福井大学　教授　岸　俊行 | ８月 |
| 美浜町 | 更年期を明るく（予定）<br>講師は調整中 | ８月 |
| | 古代の塩づくりについて（予定）<br>講師は調整中 | 秋 |
| 高浜町 | 色と香りのパワーを知ろう（予定）<br>講師は調整中 | ６月 |
| | ソーラーカー手作り教室（予定）<br>講師は調整中 | ７～８月 |
| | 親子スポーツカイトづくり（予定）<br>講師は調整中 | ９～１０月 |
| | ピアノ演奏と絵本の読み聞かせのコラボ（予定）<br>講師は調整中 | １０～１１月 |
| 若狭町 | 心の健康づくり　～ストレスをためない暮らし方をしよう～（予定）<br>講師は調整中 | ８月 |
| | 計　４０　回 | |

令和４年５月２５日現在

## （３）連携事業

「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」に基づき県内の公的機関、教育機関または生涯学習の推進に資する団体等が企画、実施する事業で、福井ライフ・アカデミー本部が広報を支援する。

## ３　学習活動の促進事業

| 事業名 | 内　容 | 実施期間 |
|---|---|---|
| 学習グループ支援 | 県民の自主的な学習活動を奨励するため、生活学習館や若狭図書学習センターを拠点として学習を継続しているグループに対し、練習場所や成果発表の場を提供し、支援する。 | 通　年 |
| 支援対象グループ | | |
| 生活学習館を活動拠点とするグループ | アンサンブルＧ・Ｇ、越前陶芸村「ひいろの会」、ＮＰＯ法人福井県スペイン語研究会、ＮＰＯ法人福井県発明くふう研究会、コーラス華（ＨＡＮＡ）、混声合唱団福井コールアカデミー、紫水会、女声合唱団もんしろちょう、白川文字学遊愛会、雪炎俳句会、全日本写真連盟福井支部、男声合唱団ゴールデンエイジふくい、陶遊、向日葵の会、福井絵画友の会、福井きのこ会、ふくいコカリナアンサンブル、マウスｄｅまなぼ、みどり会囲碁クラブ、遊あい俳句会、煉戯窓、Ｗａｓｉ遊楽（計２２グループ） | |
| 若狭図書学習センターを活動拠点とするグループ | ミュージックフレンズ、若狭歌人集会、若狭読書会（計３グループ） | |

## ４　映像ライブラリー事業

| 事業名 | 内　容 | 実施期間 |
|---|---|---|
| 視聴覚機器、教材の整備および貸出し | 視聴覚機器やビデオ・ＤＶＤなどの視聴覚教材を整備し活用するとともに、公的機関や社会教育団体等へ貸出しを行う。 | 通　年 |

## ５　情報の収集・提供、相談事業

| 事業名 | 内　容 |
|---|---|
| 生涯学習情報ネットワークシステムの運営 | 県・市町や関係機関・団体等が主催する講座・催し物情報のほか、生涯学習関連の施設情報、視聴覚教材・図書情報、講師情報などをオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称：まなびぃネットふくい）」を運営し、県民の生涯学習環境の向上に資する。 |
| 生涯学習相談員の配置 | 多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習に関する情報や助言を提供できる生涯学習相談員２名を配置する。 |
| 青少年教育テレビ放送事業「キラリ！福井っ子」の放送 | 青少年の健全育成と家庭教育の振興をめざし、親と子が語り合える機会を提供するため、青少年の実態や活躍を取り上げた１５分間のテレビ番組の制作と放送をテレビ局に委託する。 |
| 「学びの道しるべ」の発行 | 生活学習館の機能や事業実施状況などを広く県民に周知し、生活学習館に対する理解や協力を得るため、機関広報誌「学びの道しるべ」を年３回発行する。 |
| 「福井ライフ・アカデミーニュース」の発行 | 生涯学習関連情報が広く県民に提供され、貴重な学習機会が有効に活用されるよう、主催、共催、連携事業の開催予定を掲載した情報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」を毎月発行する。 |
| ホームページの運営 | 生活学習館が主催、または委託して実施する男女共同参画・女性活躍推進事業や生涯学習推進事業、その他の事業に関する情報のほか、施設予約に関する情報等を掲載したホームページを運営する。 |

## ３　令和３年度事業実績

### （１）男女共同参画推進事業

１　男女共同参画学習事業　ゆー・あいカレッジ

① 男女パートナーシップ推進コース

| １ | 指導者養成講座 | 地域のリーダーとして男女共同参画を推進する人材を育成するため、必要な知識や技能を学ぶ講座を開催する。 |
|---|---|---|
| 開催日 | 会場 | テーマ・講師 |
| 8月26日（木） | 生活学習館 | 持続可能な福井県を考える<br>～もっとステキに！男女共同参画実現に向けて～<br>福井県地域戦略部県民活躍課 |
| 11月23日（火・祝） | 〃 | ダイバーシティ＆サスティナブル　持続可能な団体活動とは<br>「まちに未来の種をまく」～ヘルシーカフェのら12年の実践～<br>ヘルシーカフェのら　代表　新井　純子 |
| 1月22日（土） | 〃 | ダイバーシティ＆サスティナブル　持続可能な生活を送るために<br>「多様な性を生きる～すべての人が暮らしやすい福井へ」<br>富山大学人文学部　准教授　林　夏生 |
| 2月23日（水・祝） | 〃 | ダイバーシティ＆サスティナブル　持続可能な住み続けられるまちとは？<br>「もっと身近に　SDGｓ！～楽しく学べるカードゲームでまちづくりを実践」<br>オフィス・マインドルージュ代表　藤田　由美子 |

| ２ | 地域連携講座 | 地域社会における男女共同参画が推進するよう、公民館等が開催する研修に講師を派遣し支援する。 |
|---|---|---|
| 開催日 | 主催者 | テーマ・講師 |
| 10月9日（土） | 小浜男女共同参画ネットワーク | 性の多様性についての理解を深める<br>～誰もが自分らしく生きることを認め合う社会づくりのために～<br>福井工業大学　非常勤講師　武内　昭子 |
| 10月26日（火） | おおい町婦人福祉協議会 | コロナ禍におけるＤＶの現状<br>福井大学医学部看護学科コミュニティ看護学　教授　長谷川　美香 |
| 11月25日（木） | 大野男女共同参画ネットワーク | 男女共同参画の視点での防災について<br>福井県防災士会　　打谷　由起子　二木　佐緒里 |
| 3月8日（火） | さかい男女共同参画ネットワーク | 女性の活躍推進！男性優位の福井で“私”を生きる<br>歴博茶房ときめぐる、カフエー代表　後藤　ひろみ |

| ３ | 教育連携講座 | 教育関係者が男女共同参画に対する理解を深め、子どもたちと適切に関わることができるよう、勉強会等に講師を派遣し支援する。 |
|---|---|---|
| 開催日 | 主催者 | テーマ・講師 |
| 生徒研修 | | |
| 7月7日（水） | 奥越明成高等学校 | 安心できる関係づくり<br>～デートＤＶの被害者にも加害者にも傍観者にもならないために～<br>公益財団法人　ふくい女性財団　東野　香里 |
| 7月12日（月） | 福井工業大学附属福井高等学校 | 安心できる関係づくり<br>～デートＤＶの被害者にも加害者にも傍観者にもならないために～<br>公益財団法人　ふくい女性財団　東野　香里 |
| 9月14日（火） | 丸岡高等学校 | 好きになったら何でもＯＫ？<br>～お互いを大切にして、よりよい関係を築くために～<br>福井工業大学　非常勤講師　武内　昭子 |
| 10月6日（水） | 永平寺町児童クラブ指導員 | 面前ＤＶ研修～ＤＶが子どもにもたらす影響について～<br>公益財団法人　ふくい女性財団　女性総合相談員　村上　博子 |
| 11月5日（金） | 奥越明成高等学校 | 安心できる関係づくり<br>～デートＤＶの被害者にも加害者にも傍観者にもならないために～<br>公益財団法人　ふくい女性財団　東野　香里 |

| 開 催 日 | 主催者 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| 11月13日(土) | 坂井市立<br>三国西小学校 | 親子で楽しむキャリア教育～性別にとらわれない職業選択～<br>坂井西警察署、株式会社ネスティ、ＮＰＯ法人おっとふぁーざー、坂井市立三国病院 |
| 11月29日(月) | 足羽高等学校 | ＬＧＢＴＱについて学び、理解を深める<br>Youtuber　かずえちゃん |
| 12月10日(金) | 南越前町立<br>南条中学校 | ＬＧＢＴＱについて<br>福井工業大学　非常勤講師　武内　昭子 |
| 2月3日(木) | 科学技術高等学校 | ゲイの僕がYoutuberにのせて伝えたいＬＧＢＴＱのこと<br>Youtuber　かずえちゃん |
| 2月16日(水) | 若狭町立鳥羽小学校 | 多様な性～ＬＧＢＴＱについて<br>Youtuber　かずえちゃん |

| 4 | 県民活動支援講座 | 各界各層の男女共同参画が推進するよう、県内のグループや団体が企画・運営する勉強会等に講師を派遣し支援する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 主催者 | テーマ・講師 |
| 7月4日(日) | 一般社団法人ガールスカウト福井県連盟 | ジェンダー平等について<br>福井大学大学院　連合教職員大学院　特命助教　矢内　琴江 |

② 次世代育成支援コース

| 1 | 次世代育成セミナー | 中学生に対し、社会に存在する固定的性別役割分担意識に捉われることなく将来の職業や生き方を選択できるよう、必要な知識や先輩の体験談などを学ぶ機会を提供する。<br>テーマ：私が選ぶ私の進路　～一人ひとりが輝くために～ |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 実施校 | 体験発表協力企業等 |
| 7月15日(木) | 大野市上庄中学校 | 田中建設株式会社、大野市あかね保育園 |
| 9月22日(水) | 南越前町立<br>南条中学校 | 永森建設株式会社アイ設計事務所、株式会社アートテクノロジー、<br>医療法人林病院 |
| 10月11日(月) | 鯖江市東陽中学校 | 株式会社ハートフル、鯖江・丹生消防組合、福井赤十字病院、<br>国民健康保険織田病院 |
| 10月12日(火) | 勝山市<br>勝山南部中学校 | 高志法律事務所、株式会社日本ピーエス、勝山総合病院、福井中央クリニック |
| 10月27日(水) | 勝山市<br>勝山中部中学校 | 福井テレビジョン放送株式会社、前田電気株式会社、美容室Boris Vian |
| 10月29日(金) | 勝山市<br>勝山北部中学校 | かわぐち動物病院、坂井市春江北幼保園 |
| 1月26日(水) | 南越前町立<br>今庄中学校 | オリンピアン（フェンシング）、美容室Boris Vian |

| 2 | 高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」 | 女子高校生が、性別ではなく自身の興味や適性によって自由に進路を選択、チャレンジできるよう、特に理系分野で活躍しているロールモデルからアドバイスを受ける機会を提供する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 実施校 | テーマ・講師 |
| 11月4日(木) | 三国高等学校 | 好きを仕事にするために～私が理系を選んだ理由～<br>キューピー株式会社　伊東　真智<br>交流会：理系選択後の将来って？<br>協力企業等：県総合グリーンセンター、県立病院 |
| 12月10日(金) | 丹生高等学校 | 野菜をおいしく、楽しく、とるお手伝い～カゴメのものづくりを通して～<br>カゴメ株式会社　夛田　志緒里<br>交流会：理系選択後の将来って？<br>協力企業等：伊藤瑞貴建築設計事務所、県総合グリーンセンター<br>株式会社オーディオテクニカフクイ |

③ 働く女性のキャリアアップ応援コース

| 1 | キャリアアップ応援講座 | 女性が、ステップアップしながら働き続けられるよう、キャリア形成に役立つ知識やスキルを学ぶ機会を提供する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 5月28日(金) | 生活学習館 | 仕事がうまくいく！“気くばり”のコミュニケーションマナー<br>オフィス・マインドルージュ代表　藤田　由美子 |
| 11月18日(木) | 生活学習館 | 仕事がうまくいく！“気くばり”のコミュニケーションマナー<br>オフィス・マインドルージュ代表　藤田　由美子 |
| 12月16日(木) | 生活学習館 | 仕事がはかどる文章力向上講座<br>株式会社ビジネスプラスサポート　麻野　由佳 |
| 1月15日(土) | 生活学習館 | 今年こそ手帳を味方につける！手帳術入門講座<br>pueri color.　蓑輪　恵理子 |
| 3月5日(土) | 生活学習館 | ～夢をあきらめない私になる～<br>はたらく女性のためのレジリエンス入門<br>株式会社深谷レジリエンス研究所　代表取締役　深谷　純子 |
| 3月19日(土) | 生活学習館 | はたらく女性のマインドフルネス<br>kieRelaxＹＯＧＡ　山田　きえ |

| 2 | 女性の再就職等チャレンジ支援セミナー | 出産・育児や介護等で離職した女性が円滑に再就職できるよう、必要な知識や情報を提供し支援する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 7月13日(火)<br>7月14日(水) | 生活学習館 | 女性のための再就職支援セミナーin福井市<br>オリエンテーション＆ふくい女性活躍支援センターの活用法<br>ふくい女性活躍支援センター　就職支援指導員　羽生　長由輝<br>管内雇用失業情勢及びハローワーク福井の就職支援について<br>ハローワーク福井　統括職業指導官　新清　誠<br>ここからが新しいスタート！「自分を知り自分を活かす」ための選択<br>～「働く知識と最新情報」を手に入れよう～<br>社会保険労務士　森口　美和子<br>これから働きたいあなたのために～“私の強みを”発見しよう～<br>有限会社Ｃマインド　代表取締役　長谷川　能扶子<br>～メンター交流会～仕事との両立と働き方について<br>株式会社福井新聞社経営企画局副部長　市岡　美由紀<br>セーレン株式会社メディカル資材販売部　主任　新家　知子 |
| 1月18日(火) | 粟野公民館 | 女性のための再就職支援セミナーin敦賀市<br>オリエンテーション＆ふくい女性活躍支援センターの活用法<br>ふくい女性活躍支援センター　就職支援指導員　羽生　長由輝<br>管内雇用失業情勢及びハローワーク敦賀の就職支援について<br>ハローワーク敦賀　統括職業指導官　和多田　吉晃<br>ビジネスマナーについて～今更聞けない面接マナー～<br>マナーアドバイザー　桝谷　真澄<br>ここからが新しいスタート！「自分を知り自分を活かす」ための選択<br>～「働く知識と最新情報」を手に入れよう～<br>社会保険労務士　森口　美和子 |

④ 企業における女性活躍推進コース

| 1 | キャリア・アカデミー | 企業の中でリーダーとして活躍できる女性人材を育成するため、資質や意欲を向上できる機会を提供し支援する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 8月31日（火）<br>9月 1日（水） | 生活学習館 | 仕事が楽しくなる「ロジカルトーク」と「ロジカルシンキング」<br>株式会社リフェイス　代表取締役　中村　佳織 |
| 9月29日（水）<br>9月30日（木） | 生活学習館 | コーチングとアンガーマネジメントのスキルを磨こう！！<br>～私らしいリーダーシップスタイルで部下の成長をサポート～<br>Coach A.M代表　杉嶋　奈津子 |

| 2 | 管理職のための女性人材育成セミナー | 企業で働く女性たちが存分に能力を発揮して活躍できるよう、管理職を対象に、正しいマネジメントスキルを身に付ける機会を提供する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 3月4日(金) | 生活学習館 | 相談される、育てられる上司になる！<br>～女性部下を「伸ばす」育成面談スキル～<br>株式会社これあらた　代表取締役　冨山　佳代 |
| 3月16日(水) | 生活学習館 | 待ったなし！女性活躍・人材育成における管理職の役割<br>株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ　代表取締役　佐々木　常夫 |

| 3 | 企業連携講座 | 企業が、社員を対象として、働き方の改革や女性人材の活躍支援を図るための研修を行う場合に、講師を派遣し支援する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 主催者 | テーマ・講師 |
| 7月10日(土) | アイビーエージェント株式会社 | リーダーのコミュニケーションスキルコーチング研修<br>株式会社ブリッジ　取締役　橋脇　典子 |
| 8月25日(水) | 社会福祉法人光道園 | 共感と信頼を高めるコミュニケーション向上研修<br>オフィス・マインドルージュ　代表　藤田　由美子 |
| 12月9日(木) | 公益財団法人坂井市スポーツ協会 | ハラスメントの防止に向けて～意識の差がもたらす悲劇～<br>白崎社会保険労務士事務所　社会保険労務士　白崎　由美子 |

⑤ 男性の家事・育児参画コース

| 1 | カップル応援講座 | 若い夫婦が、家事や育児を対等に協力し合う家庭を築き、二人で幸せになる将来設計を描くことができるよう、考え学ぶ機会を提供する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 11月27日(土) | 生活学習館 | プレ婚新婚大歓迎！カップル応援講座<br>Lesson1:ちゃんと考えてる？あなたのお金、かぞくのお金<br>知ってトクする明るい人生のためのお金との付き合い方<br>ファイナンシャルプランナーＣＦＰ　万久　弘子<br>Lesson2:赤ちゃんがやってくるとみんな変わるよ！<br>ＮＰＯ法人おっとふぁーざー　舘　直宏 |

| 2 | 新米パパ・ママ応援講座 | 子育て中の夫婦が、協力して家事・育児を行うとともに、楽しんで子育てを続けることができるよう、スキルや知識を身に付ける機会を提供する。 |
|---|---|---|
| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| 7月3日(土) | 生活学習館 | たったこれだけ！<br>レスキューナースが教える地震に強い家づくりとプチプラ防災<br>国際レスキューナース・一般社団法人育母塾代表理事　辻　直美 |
| オンデマンド講座<br>11月23日(火・祝)<br>～12月3日（金）<br><br>ライブ講座<br>12月4日(土) | オンライン講座 | 「家族で楽しく！遊んで！片付け！」<br>オンデマンド講座<br>家族で楽しむ！おもちゃで育むこどもの成長<br>福井県幼児教育支援センター家庭教育アドバイザー　道坂　由美子　宮田　志保乃<br>ライブ講座<br>「私ばっかり大変」から脱出！家族が自然とやりたくなる片づけ収納のコツ<br>家事研究家　ライフオーガナイザー　ミニマライフ代表　香村　薫 |

## 2　女性活躍支援センター事業　再就職支援セミナー

| 開 催 日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| 9月8日(水) | 生活学習館 | 「ふくい女性活躍推進企業による就職面接会　来春の就職を応援します」<br>① 会社ＰＲ：事業内容、女性や子育て中の方が働きやすい・成長を応援する取り組み、募集求人の仕事内容、勤務条件等を説明<br>アクサ生命保険株式会社、株式会社江守情報、OKUTAKE GROUP<br>株式会社オザキスポーツ、社会福祉法人希望園、株式会社キャリアプラス<br>社会福祉法人光道園、株式会社五目亭、柴田商事株式会社<br>株式会社ナカニシビジョン、日本商運株式会社<br>介護老人保健施設ひかりケアホーム、前田電気株式会社、株式会社ワカヤマ<br>② 交流会：各企業の方が参加者のテーブルをまわり、自由に質疑応答 |
| 3月10日(木) | 生活学習館 | ふくい女性活躍推進企業による就職面接会＆就職応援セミナー<br>① ベストな選択のために、働き方の知識を深めよう！<br>扶養の範囲内で働くのか、社会保険に加入して働くのか、ワタシらしく働くためにしくみとメリットを知ろう。<br>社会保険労務士　河合　安子<br>② 会社ＰＲ：事業内容、女性や子育て中の方が働きやすい・成長を応援する取り組み、募集求人の仕事内容、勤務条件等を説明<br>アクサ生命保険株式会社、社会福祉法人足羽福祉会<br>ＳＣＳＫサービスウェア株式会社、クリタ明希株式会社<br>柴田商事株式会社、社会福祉法人双和会、福井信用金庫<br>Fujikon corporation株式会社 |
| 3月11日（金） | 生活学習館 | ① 日々の暮らしが上手く回る！― 賢く手を抜く時短家事 ―<br>仕事と両立するために、頑張らない時短家事のコツを学ぼう。<br>整理収納アドバイザー・時短家事コーディネーター　田中　由美子<br>② 会社ＰＲ：事業内容、女性や子育て中の方が働きやすい・成長を応援する取り組み、募集求人の仕事内容、勤務条件等を説明<br>株式会社カーネーション、日本生命保険相互会社<br>日本商運株式会社、株式会社福井銀行、社会福祉法人福泉会<br>医療法人穂仁会、株式会社ローズガーデン |

## ３　ふくい女性つながりサポート事業　専門家による寄り添い講座

| 開 催 日<br>会　　場 | 対象者 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| 10月21日(木)<br>生活学習館 | 福井県人権擁護委員 | 「女性の抱える問題への理解と、相談を受ける際の心構え・留意点」<br>公認心理師・臨床心理士　新井　宏和<br>「女性に多い被害と警察の対応」<br>福井県警察本部少年女性安全課　青山　泰<br>「相談現場から伝えたい現状・対応と各種相談窓口について」<br>公益財団法人ふくい女性財団　主任　東野　香里 |
| 11月11日(木)<br>市民プラザ<br>たけふ | 民生委員、市町男女共同参画推進員、教育関係者 | 「女性の抱える問題への理解と、相談を受ける際の心構え・留意点」<br>公認心理師・臨床心理士　新井　宏和<br>「女性に多い被害と警察の対応」<br>福井県警察本部少年女性安全課　青山　泰<br>「相談現場から伝えたい現状・対応と各種相談窓口について」<br>公益財団法人ふくい女性財団　主任　東野　香里 |
| 11月30日(火)<br>生活学習館 | 県・市町・民間の窓口担当者等 | 「女性の抱える問題（ＤＶ,性暴力等）への理解と、情報の取り扱いへの注意喚起」　弁護士　千葉　真貴子<br>「二次被害を防ぐ～相談者に寄り添う対応のコツ・留意点～」<br>公認心理師、臨床心理士　前川　伸晃 |
| 1月8日(土)<br>オンライン研修<br>＋<br>生活学習館 | 福井県精神保健福祉協会の会員 | 「事業説明　ふくい女性つながりサポート事業について」<br>公益財団法人ふくい女性財団　主任　東野　香里<br>「家庭内でおきる暴力を未然に防ぐ<br>～ソーシャルワークを支援に活かして～」<br>杏林大学保健学部健康福祉学科　加藤　雅江 |
| 3月9日(水)<br>生活学習館 | 県内ＤＶセンター女性相談員、市内女性相談員、学校関係者（養護教諭、スクールカウンセラー） | 「事業説明　ふくい女性つながりサポート事業について」<br>公益財団法人ふくい女性財団　主任　東野　香里<br>「若年層の“からだと性”を守るために<br>～セクシャル・リプロダクティブ・ライツの視点から～」<br>ウィメンズセンター大阪　国安　澄江 |

## ４　ふくいきらめきフェスティバル開催事業

ふくいきらめきフェスティバル２０２１

| 開 催 日 | 会　場 | 内容 |
|---|---|---|
| 6月19日(土) | 生活学習館 | 記念講演：「今こそチェンジ！自分の力、みんなの力～無意識のジェンダー・バイアスを克服する～」<br>東京工業大学リベラルアーツ研究教育院　准教授　治部　れんげ<br>サテライト会場<br>〈パレア若狭〉<br>講座「お庭は自然の薬箱～日々に活かせる薬草講座」<br>里山サロン mwangaムワンガ、源点回帰アドバイザー　吉田　弓華<br>体験講座「今、心身を整える～１０秒ポーズ健康法～」<br>理学療法士　フィジカルセラピスト　福田　裕子 |

## （２）生涯学習推進事業

### １　指導者の養成事業

| １　社会教育・生涯学習指導者研修 | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| １月21日（金） | 生活学習館 | 午前：動画作成講座「パワポでかんたん動画づくり」<br>午後：動画編集講座「Windowsフォトで手軽に動画編集」<br>仁愛女子短期大学<br>准教授　澤崎　敏文 |

### ２　福井ライフ・アカデミー事業

（１）主催事業

①　ふるさと未来講座

| １　歴史 | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| ９月９日（木） | 生活学習館<br>※１<br>(若狭C同時配信) | 戦国時代の若越の山城について<br>滋賀県立大学　名誉教授　中井　均 |
| 12月３日（金） | 生活学習館<br>(若狭C同時配信) | 朝倉義景の外交手腕<br>～古文書の折目が語る義景の知略～<br>福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館　学芸員　石川　美咲 |
| 12月５日（日） | 若狭図書<br>学習センター | 北前船船主　古河屋嘉太夫家の魅力<br>小浜市文化交流課　学芸員　川股　寛享 |
| ２月11日<br>（金・祝） | 生活学習館<br>※１<br>(若狭C同時配信) | グリフィスの遺産～来福１５０年を迎えて～<br>歴史家・作家　加来　耕三 |
| ２月13日（日） | 若狭図書<br>学習センター<br>※１ | 聖武天皇　大仏への道<br>奈良国立博物館名誉館員・半蔵門ミュージアム館長　西山　厚 |

| ２　自然科学 | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| ７月13日（火） | 生活学習館<br>(若狭C同時配信) | 福井を襲う内陸型（活断層型）地震～避けられない地震災害に備えて～<br>福井大学教育学部　教授　山本　博文 |
| ８月21日（土） | 生活学習館<br>※１<br>(若狭C同時配信) | 荒ぶる自然 クマとのつきあい方～野生動物との共存を考える～<br>石川県立大学環境科学科　教授　大井　徹 |
| 11月14日（日） | 若狭図書<br>学習センター<br>※１ | 今まで知らなかった「光害」のはなし<br>― 身近な環境問題「光害」から自然との共生を考える ―<br>東洋大学准教授・国際ダークスカイ協会東京支部代表　越智　信彰 |
| 11月27日（土） | 若狭図書<br>学習センター | 若狭湾の海はすばらしい　― 森と沢と海が育む自然 ―<br>名古屋ECO動物海洋専門学校講師・淡路水族館元館長　白井　芳弘 |
| 12月21日（火） | 生活学習館 | ようこそ数学の世界へ～日常の中の数学を眺めてみれば～<br>金沢大学　理工研究域　電子情報通信学系　教授　松谷　茂樹 |

## ３　経済・産業

| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| ７月６日（火） | 生活学習館<br>（若狭C同時配信） | 人々の幸せ（ウェルビーイング）を目指す国づくり・地域づくりの展開<br>福井県立大学　地域経済研究所　准教授　高野　翔 |
| 12月17日（金） | 生活学習館 | 現役マーケターが教える「デジタルマーケティングで売上の壁を超える方法」<br>株式会社シンクロ　代表取締役社長　西井　敏恭 |
| ２月19日（土） | 生活学習館<br>※１ | SDGsと企業経営<br>「良い会社」と「良い地域社会」をつくるSDGsとは<br>日刊工業新聞社　編集局　松木　喬 |

## ４　芸術・文化

| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| 11月３日<br>（水・祝） | 生活学習館 | 地方から文化の魅力発信！　～福井県から世界へ～<br>フルート奏者・concerto株式会社　代表取締役社長　山本　晴香 |
| １月28日（金） | 生活学習館 | 日本の食を語るなら、誇りを持って今こそ福井！<br>～首都圏メディアから見た福井の食文化～<br>郷土料理研究家・フードディレクター　佐々木　京美 |
| ２月６日（日） | 若狭図書<br>学習センター | 蓄音機　歴史・仕組みと音色を楽しむ<br>福井県立こども歴史文化館　学芸員　高岡　萌 |
| ２月19日（土） | 若狭図書<br>学習センター | 言葉・風習の中の陰陽（陰陽五行説・陰陽道など）<br>福井県おおい町　暦会館広報　山田　虹太郎 |
| ２月23日<br>（水・祝） | 生活学習館<br>（若狭C同時配信） | 地域の文化財を発見し護ること　～ご先祖の残したものは大切に～<br>京都国立博物館　名誉館員　久保　智康 |

## ５　現代社会

| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|
| ６月12日（土） | 生活学習館<br>（若狭C同時配信）<br>（YouTube録画配信） | 新型コロナウイルス感染症から私たちが学んだこと<br>福井大学病院　感染症膠原病内科・感染制御部　教授　岩﨑　博道 |
| ８月27日（金） | 生活学習館<br>※１<br>（若狭C同時配信） | 私たちの性の多様性<br>-多様な性のあり方の理解を深めるために-<br>北海道大学　大学院理学研究院　教授　黒岩　麻里 |
| 12月11日（土） | 若狭図書<br>学習センター | 後悔しないための防災心得<br>京都大学防災研究所巨大災害研究センター　准教授　大西　正光 |
| １月15日（土） | 生活学習館 | 人生百年時代における学びのスタイル　～探究、接続・連続、双方向～<br>福井大学　国際地域学部　非常勤講師・福井県立坂井高等学校　非常勤講師<br>江川　誠一 |
| ３月12日（土） | 若狭図書<br>学習センター | 高濱明日研究所＝アスケン　まちをワクワクさせるローカルプロジェクト<br>～あしたあったらいいなを実現させる有志団体～<br>「高濱明日研究所」共同代表　名里　裕介<br>「高濱明日研究所」共同代表　冨田　雄生 |

| ６　地域づくり | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師等 |
| ６月25日（金） | 生活学習館<br>（若狭C同時配信） | ピンチをチャンスに～越前水仙の里～『新しい力』の連鎖で未来を<br>株式会社Ex SATOYAMA　代表取締役　山内　孝紀 |
| １月20日（木） | 生活学習館<br>※１ | 里山を創生する「デザイン的思考」と「生活観光」。<br>株式会社自遊人　代表取締役　岩佐　十良 |
| ３月17日（木） | 生活学習館<br>※１<br>（若狭C同時配信） | コミュニティデザインについて～人と人をつなぐコミュニティづくり～<br>株式会社studio-L 代表　山崎　亮 |

※１　講師は来館せず、オンラインで講演

② ふるさと探究講座

| 生活学習館を拠点に開催 | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| ８月11日（水） | 春江電子株式会社・福井県工業技術センター　他 | ふくいの宇宙産業技術を体感！<br>福井県産業労働部産業技術課　新技術支援室<br>イノベーション・衛星グループ　企画主査　山下　裕章 |
| 10月５日（火） | 勝山市大矢谷白山神社・県自然保護センター　他 | 経ヶ岳が崩れた！～数千年前の巨大土砂災害の痕跡を訪ねて～<br>福井大学教育学部　教授　山本　博文 |
| ３月25日（金） | 越前和紙の里・越前打刃物振興施設刃物の里 | 越前ものづくりの里をめぐる！<br>福井県産業労働部産業技術課伝統工芸室　主事　石田　香奈子 |

| 若狭図書学習センターを拠点に開催 | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
| ３月５日（土） | おおい町納田終周辺 | 小水力発電と暦（陰陽師）～地域を知り 活かし方を学ぶ～<br>小水力発電施設　広報担当<br>おおい町暦会館　職員 |
| ３月23日（水） | 越前和紙の里周辺　※２ | 越前和紙と紙の神様に会いに行く<br>紙の文化博物館・卯立の工芸館・パピルス館　各担当者<br>越前市観光ボランティアガイド |

※２　申込者なしのため催行中止

③　ゆうあいシアター

| １　ゆうあいシアター | | |
|---|---|---|
| 開催日 | 会場 | 内　容 |
| ４月23日（金）<br>４月24日（土） | 生活学習館 | 「映像で訪ねる世界の名画」 |
| ６月４日（金）<br>６月５日（土） | 〃 | 「ふるさと―ＪＡＰＡＮ」 |
| ８月６日（金）<br>８月７日（土） | 〃 | 夏休みこどもシアター<br>「ぼくは王さま」<br>「からすのパンやさん／どろぼうがっこう」 |
| 10月15日（金）<br>10月16日（土） | 〃 | 「アルジャーノンに花束を」 |
| 12月25日（土）<br>12月26日（日） | 〃 | 冬休みアニメシアター<br>「NITABOH仁太坊―津軽三味線始祖外聞」 |
| ２月25日（金）<br>２月26日（土） | 〃 | 「生き抜く　南三陸町　人々の一年」 |

（２）共催事業

１　共催講座

| 市　町 | 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|---|
| 福井市 | ７月９日（金） | アオッサ | 身につけよう　感染対策のコツ<br>福井大学医学部　教授　岩﨑　博道 |
| | 10月13日（水） | 〃 | 子どものスマホ利用について<br>～スマホルールの作り方～<br>仁愛大学　准教授　安彦　智史 |
| | 11月10日（水） | 〃 | 笑って笑って　ストレス解消<br>仁愛大学　非常勤講師　山村　恵子 |
| | 12月４日（土） | 〃 | グリフィスが催した日本初のクリスマス会<br>福井大学　特任教授　細谷　龍平 |
| 敦賀市 | 10月20日（水） | 敦賀市中郷公民館 | 健康寿命の延ばし方<br>～高血圧・糖尿病などの生活習慣病の予防と改善～<br>福井大学医学部　准教授　此下　忠志 |
| | 11月20日（土） | 敦賀市立図書館 | 中国を知り、中国語にふれてみよう<br>福井大学　准教授　永井　崇弘 |
| 小浜市 | ９月12日（日）<br>【中止】※ | 小浜市今富公民館 | 災害時における心と体のセルフケア<br>～被災地から学び、災害に備える～<br>福井大学医学部　教授　酒井　明子 |
| | 10月２日（土） | 小浜市小浜公民館 | 基礎から学ぶ感染症対策講座<br>福井医療大学　准教授　吉江　由加里 |
| 大野市 | ７月29日（木） | 学びの里「めいりん」 | 楽観主義と悲観主義の生理心理学<br>仁愛大学　教授　水田　敏郎 |
| | ９月16日（木） | 〃 | 知って得する健康獲得法<br>～各世代における問題とその対策～<br>福井工業大学　教授　杉浦　宏季 |
| | 11月15日（月） | 〃 | マインドフルネスって何だろう<br>～現代心理療法の視点から～<br>仁愛大学　准教授　渡辺　克徳 |
| 勝山市 | ７月25日（日） | 勝山市教育会館 | 家族で科学実験教室<br>仁愛大学　教授　西出　和彦 |
| | ８月10日（火） | 〃 | アメリカの外交と日米関係<br>福井県立大学　教授　島田　洋一 |
| | ８月24日（火） | 〃 | 県産農産物の機能性を毎日の食事に活かそう<br>福井大学　准教授　村上　亜由美 |
| | 11月13日（土） | 〃 | 家族でワクワク！科学おもちゃづくり<br>福井工業高等専門学校<br>田中嘉津彦、村中貴幸、伊勢大成、高橋奨 |

| 市　町 | 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|---|
| あわら市 | ５月26日（水） | あわら市中央公民館 | 光と健康、光と視覚<br>～生産性の高い生活をおくるための照明の使い方～<br>福井大学　教授　明石 行生 |
| | ６月10日（木） | 〃 | 万華鏡と数学<br>～ちょっと「脳トレ」してみませんか？～<br>福井大学　教授　古閑　義之 |
| | ７月７日（水） | 〃 | そこらへんの雑草管理<br>～あなたの愛に雑草が応える時～<br>福井県立大学　准教授　水口 亜樹 |
| | ８月３日（火） | 〃 | 食と健康<br>－生活習慣病予防で健康寿命を延ばそう－<br>仁愛女子短期大学　教授　牧野 みゆき |
| 越前市 | ８月26日（木） | 越前市生涯学習センター | 親子で一緒に！手作り楽器を楽しもう<br>仁愛女子短期大学　教授　木下　由香 |
| | ９月25日（土） | 〃 | 教えて！AIって何だろう？<br>福井大学　教授　小高　知宏 |
| | 11月20日（土） | 越前市岡本公民館 | 顔学～顔が元気、心が元気～<br>顔学インストラクター　前田　紘一 |
| | ２月19日（土） | 越前市生涯学習センター | 食のちからで健康に！<br>～食品の選び方・食べ方～<br>仁愛大学　教授　浦本　裕美 |
| 坂井市 | ７月３日（土） | 高椋コミュニティセンター | 「宇宙から見る“ふるさと福井”」何が見える？何がわかる？<br>福井工業大学　教授　青山　隆司 |
| | ９月４日（土） | 〃 | 災害時の食事に“にぎり寿司”<br>福井大学　教授　水沢　利栄 |
| | 10月２日（土） | 〃 | 健康は笑いから<br>トーク芸人　岡田　純平 |
| | 11月20日（土） | 〃 | 冬を乗り切る健康体操講座<br>健康運動指導士　漆崎　由美 |
| 永平寺町 | ７月10日（土） | 松岡公民館 | 子宮頸がんから貴方と家族を守るために<br>福井大学医学部　教授　吉田　好雄 |
| | ２月６日（日）<br>【中止】※ | 社会福祉総合施設<br>やすらぎの郷 | こどもの食育講座<br>チョコレートスイーツづくり<br>仁愛大学　助手　井上　友貴 |
| 南越前町 | ８月３日（火） | 南条文化会館 | 認知症になりにくいライフスタイル<br>敦賀市立看護大学　講師　中堀　伸枝 |
| | 10月６日（水） | 〃 | 笑って笑ってストレス解消<br>仁愛大学　非常勤講師　山村　恵子 |

| 市　町 | 開催日 | 会　場 | テーマ・講師 |
|---|---|---|---|
| 越前町 | ７月24日（土） | 越前町生涯学習センター | 親子でワクワク算数・数学おもちゃ箱<br>～絵作りパズルとキューブ・パズルを作って遊ぼう！<br>－ジュニア・ポリオミノとソーマ・キューブ～<br>仁愛大学　教授　伊禮　三之 |
| | ９月22日（水） | 〃 | 笑って笑ってストレス解消<br>仁愛大学　非常勤講師　山村　恵子 |
| 美浜町 | 10月20日（土） | 美浜町歴史文化館 | 共同体と〈穢れ〉<br>－『備後国風土記』逸文「蘇民将来」伝承の行方<br>明治大学　兼任講師　堂野前　彰子 |
| | 11月24日（水） | 美浜町生涯学習センター<br>なびあす | 高齢期の心理的健康について考える<br>仁愛大学　教授　竹村　明子 |
| | 【中止】※ | | 高齢者の理解のために！<br>～からだ”と”こころ”の変化～<br>福井医療大学　教授　堀　敦志 |
| 高浜町 | 11月７日（日） | 高浜町和田公民館 | 絵本の読み聞かせとピアノ演奏のコラボ<br>仁愛女子短期大学　教授　木下　由香 |
| | ３月19日（土）<br>【中止】※ | 高浜町高浜公民館 | 親子で英会話<br>仁愛大学　准教授　マシュー・ハウカ |
| 若狭町 | 【中止】※ | | ロコモの予防と運動処方<br>福井工業大学　准教授　杉浦　宏季 |
| | 【中止】※ | | 心の健康づくり<br>～ストレスをためない暮らし方をしよう～<br>敦賀市立看護大学　教授　長井　麻希江 |

※　新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

（３）福井ライフ・アカデミー講座等実施状況（講座数、受講者数）

| | 主催講座 | 共催講座 | 連携講座 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 講座数 | 21(6) | 13 | 275 | 309 |
| 開催回数 | 55(10) | 34 | 1,638 | 1,727 |
| 受講者数 | 1,801(127) | 1,230 | 136,227 | 139,258 |

※主催講座の（　）は、若狭図書学習センター実施分（内数）

## ３　学習活動の促進事業

| １　学習グループ支援 | 県民の自主的な学習活動を奨励するため、生活学習館や若狭図書学習センターを拠点として学習を継続している２６グループに対し、練習場所や成果発表の場を提供することにより支援した。 |
|---|---|

| 支援対象グループ | | 主たる活動拠点 |
|---|---|---|
| 悪魔の飽食福井合唱団<br>越前陶芸村「ひいろの会」<br>ＮＰＯ法人 福井県発明くふう研究会<br>混声合唱団福井コールアカデミー<br>女声合唱団もんしろちょう<br>雪炎俳句会<br>男声合唱団ゴールデンエイジふくい<br>向日葵の会<br>福井きのこ会<br>マウスｄｅまなぼ<br>遊あい俳句会<br>Ｗａｓｉ遊楽 | アンサンブルＧ・Ｇ<br>ＮＰＯ法人 福井県スペイン語研究会<br>コーラス華（ＨＡＮＡ）<br>紫水会<br>白川文字学遊愛会<br>全日本写真連盟　福井支部<br>陶遊<br>福井絵画友の会<br>ふくいコカリナアンサンブル<br>みどり会囲碁クラブ<br>煉戯窓 | 生活学習館 |
| ミュージックフレンズ<br>若狭読書会 | 若狭歌人集会 | 若狭図書学習センター |

## ４　映像ライブラリー事業

| 事業名 | 内　容 |
|---|---|
| 視聴覚機器、教材の整備および貸出し | 視聴覚機器やビデオ・ＤＶＤなどの視聴覚教材を整備し活用するとともに、公的機関や社会教育団体等へ貸出しを行った。 |

## ５　生涯学習推進期間事業

| 生涯学習推進期間 | | １１月３日の文化の日にちなみ、様々な分野で自主的に学習活動を継続しているグループに対し、活動の成果を発表する機会を提供して支援するとともに、広く県民に対し、生涯にわたって学習を続けることの意義を普及啓発した。 |
|---|---|---|
| 開催日 | 会　場 | 内　容 |
| 10月12日～3月19日 | 生活学習館 | 学習グループの活動紹介および作品展、グループ紹介<br><br>悪魔の飽食福井合唱団<br>ＮＰＯ法人 福井県発明くふう研究会<br>混声合唱団福井コールアカデミー<br>白川文字学遊愛会<br>男声合唱団ゴールデンエイジふくい<br>向日葵の会<br>福井きのこ会<br>マウスｄｅまなぼ<br>遊あい俳句会<br>Ｗａｓｉ遊楽<br>越前陶芸村「ひいろの会」<br>コーラス華（ＨＡＮＡ）<br>紫水会<br>全日本写真連盟　福井支部<br>陶遊<br>福井絵画友の会<br>ふくいコカリナアンサンブル<br>みどり会囲碁クラブ<br>煉戯窓 |
| ３月12日～４月３日 | 若狭図書学習センター | 学習グループの活動紹介および作品展<br><br>ミュージックフレンズ<br>若狭読書会<br>若狭歌人集会 |

## ６　情報の収集・提供、相談事業

| 事業名 | 内　容 |
|---|---|
| 生涯学習情報ネットワークシステムの運営 | 県・市町や関係機関・団体等が主催する講座・催し物情報のほか、生涯学習関連の施設情報、視聴覚教材・図書情報、講師情報などをオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称：まなびぃネットふくい）」を通年で運営し、県民の生涯学習環境の向上に寄与した。 |
| 生涯学習相談員の配置 | 多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習に関する情報や助言を提供できる生涯学習相談員２名を配置した。 |
| 青少年教育テレビ放送事業「キラリ！福井っ子」の放送 | 青少年の健全育成と家庭教育の振興をめざし、親と子が語り合える機会を提供するため、青少年の実態や活躍を取り上げた１５分間のテレビ番組の制作と放送を福井テレビジョン放送（株）に委託し、９月から３月にかけて計１１回放映した。 |
| 「学びの道しるべ」の発行 | 生活学習館の機能や事業実施状況などを広く県民に周知し、生活学習館に対する理解や協力を得るため、機関広報誌「学びの道しるべ」を６月、１０月、１月に各３，５００部発行した。（１３２号～１３４号） |
| 「福井ライフ・アカデミーニュース」の発行 | 生涯学習関連情報が広く県民に提供され、貴重な学習機会が有効に活用されるよう、主催、共催、連携事業の開催予定を掲載した情報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」を毎月１，４００部ずつ発行した。 |
| ホームページの運営 | 生活学習館が主催、または委託して実施する男女共同参画・女性活躍推進事業や生涯学習推進事業、その他の事業に関する情報のほか、施設予約に関する情報等を掲載したホームページを運営した。 |

## ４　施設利用状況（令和３年４月～令和４年３月）

（１）　施設別利用状況

（単位：件、人）

| | 主催事業 | | 貸館事業 | | 合　　計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件　数 | 参加者数 | 件　数 | 利用者数 | 件　数 | 利用者数 |
| 学習室　１０１ | 42 | 242 | 328 | 3,792 | 370 | 4,034 |
| 学習室　１０２ | 38 | 226 | 261 | 2,702 | 299 | 2,928 |
| 学習室　３０１ | 33 | 203 | 300 | 2,405 | 333 | 2,608 |
| 学習室　３０２ | 30 | 176 | 257 | 1,916 | 287 | 2,092 |
| 学習室　３０３ | 20 | 80 | 148 | 1,030 | 168 | 1,110 |
| 学習室　Ｂ１ | 2 | 7 | 165 | 1,952 | 167 | 1,959 |
| 学習室　Ｂ１－２ | 0 | 0 | 61 | 368 | 61 | 368 |
| 学習室　Ｂ１－３ | 5 | 9 | 152 | 929 | 157 | 938 |
| 和　室　Ａ | 10 | 31 | 103 | 883 | 113 | 914 |
| 和　室　Ｂ | 10 | 28 | 88 | 684 | 98 | 712 |
| 茶　室 | 9 | 9 | 41 | 129 | 50 | 138 |
| ミーティングルームＡ | 9 | 13 | 148 | 464 | 157 | 477 |
| ミーティングルームＢ | 0 | 0 | 133 | 383 | 133 | 383 |
| ミーティングルームＣ | 0 | 0 | 122 | 357 | 122 | 357 |
| ミーティングルームＤ | 0 | 0 | 123 | 360 | 123 | 360 |
| ミーティングルームＥ | 0 | 0 | 69 | 202 | 69 | 202 |
| 映像ホール | 80 | 1,238 | 169 | 4,057 | 249 | 5,295 |
| 学習室３０４ 縁結び交流室 | 2 | 6 | 185 | 1,081 | 187 | 1,087 |
| 創作実習室 | 0 | 0 | 117 | 976 | 117 | 976 |
| 木工室 | 0 | 0 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 音楽練習室 | 0 | 0 | 74 | 769 | 74 | 769 |
| 調理実習室 | 0 | 0 | 47 | 458 | 47 | 458 |
| 多目的ホール | 40 | 852 | 213 | 11,029 | 253 | 11,881 |
| 楽屋（和室） | 8 | 16 | 59 | 187 | 67 | 203 |
| 楽屋（洋室） | 12 | 22 | 121 | 426 | 133 | 448 |
| フィットネスルーム | 2 | 4 | 84 | 283 | 86 | 287 |
| ギャラリー　Ａ | 32 | 118 | 79 | 251 | 111 | 369 |
| ギャラリー　Ｂ | 0 | 0 | 25 | 27 | 25 | 27 |
| ギャラリー　Ｃ | 52 | 146 | 37 | 64 | 89 | 210 |
| 計 | 436 | 3,426 | 3,715 | 38,170 | 4,151 | 41,596 |

| | |
|---|---|
| 情報ルーム | 7,655 |
| チャイルドルーム | 486 |
| 女性活躍支援センター | 1,386 |
| 女性総合相談室 | 1,134 |
| 合　計 | 52,257 |

## ５　ふくい女性活躍支援センターの利用状況（R3.4.1～R4.3.31）

＜利用者数＞

| 区　　分 | | | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|---|---|
| センター利用者数 | | | １，３３３ | ４０．９ |
| 内訳 | 男女別 | キッズコーナー | ９３ | ７．０ |
| | | 女　性 | １，１３１ | ８４．８ |
| | | 男　性 | １０９ | ８．２ |
| | | 計 | １，３３３ | １００．０ |
| | 年代別 | キッズコーナー | ９３ | ７．０ |
| | | １０～２０歳代 | １５５ | １１．６ |
| | | ３０歳代 | ５０７ | ３８．０ |
| | | ４０歳代 | ２８６ | ２１．５ |
| | | ５０歳以上 | ２９２ | ２１．９ |
| | | 計 | １，３３３ | １００．０ |
| 講座等参加者 | | | ５９４ | １８．２ |
| その他（図書貸出し、見学等） | | | １，３３０ | ４０．９ |
| 計 | | | ３，２５７ | １００．０ |

＜職業紹介関係＞

| 区　　分 | 件数・人数 |
|---|---|
| 新規求職者数 | １５７人 |
| 職業相談件数　（A） | ４５５件 |
| 職業紹介件数　（Aの内数） | ７１件 |
| 就職件数　（Aの内数） | ７０件 |

＜利用者の利用目的＞

| 区　　分 | | 件数（件） | 割合（%） |
|---|---|---|---|
| 相　談 | | １，０２２ | ５８．５ |
| 主な相談内容 | キャリアアップ | １１ | １．１ |
| | 再就職・就業 | ３０１ | ２９．４ |
| | 転　　職 | １４８ | １４．５ |
| | 起　　業 | ５ | ０．５ |
| | 保育所・子育て | ６９ | ６．８ |
| | 労働問題・人間関係 | ６ | ０．６ |
| | 地域活動・ボランティア | ０ | ０．０ |
| | 問い合せ | ４７９ | ４６．９ |
| | そ の 他 | ３ | ０．２ |
| | 計 | １，０２２ | １００．０ |
| 情報収集 | | ７２５ | ４１．５ |
| 計 | | １，７４７ | １００．０ |

※複数の利用目的で来所される場合があるため、計は来所者数（1,333 人）とは一致しません。

## ６　ふくい女性活躍支援センター嶺南出張相談会（ふくい女性つながりサポート事業）の利用状況（R3.7.1～R4.3.31）

＜利用者数＞

| 区　　分 | | 小浜 | | 敦賀 | | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 人数（人） | 割合（%） | 人数（人） | 割合（%） | 人数（件） | 割合（%） |
| 嶺南出張相談会利用者数 | | ９ | １００．０ | ２９ | １００．０ | ３８ | １００．０ |
| 年代別 | ２０代以下 | ４ | ４４．４ | ３ | １０．３ | ７ | １８．４ |
| | ３０代 | ４ | ４４．４ | １０ | ３４．５ | １４ | ３６．８ |
| | ４０代 | ０ | ０．０ | ６ | ２０．７ | ６ | １５．９ |
| | ５０代以上 | １ | １１．２ | １０ | ３４．５ | １１ | ２８．９ |
| うち相談人数 | | ６ | ６６．７ | ９ | ３１．０ | １５ | ３９．５ |
| 計 | | ９ | １００．０ | ２９ | １００．０ | ３８ | １００．０ |

＜利用者の利用目的＞

| 区　　分 | | 小浜 | | 敦賀 | | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 件数（件） | 割合（%） | 件数（件） | 割合（%） | 件数（件） | 割合（%） |
| 主な相談内容 | キャリアアップ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ |
| | 再就職・就業 | ５ | ４５．５ | ６ | １８．７ | １１ | ２５．６ |
| | 転　　職 | １ | ９．１ | ４ | １２．５ | ５ | １１．６ |
| | 起　　業 | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ |
| | 保育所・子育て | ２ | １８．１ | ２ | ６．３ | ４ | ９．３ |
| | 労働問題・人間関係 | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ |
| | 地域活動・ボランティア | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ |
| | 問い合せ | ３ | ２７．３ | ２０ | ６２．５ | ２３ | ５３．５ |
| | そ の 他 | ０ | ０ | ０ | ０．０ | ０ | ０．０ |
| 計 | | １１ | １００．０ | ３２ | １００．０ | ４３ | １００．０ |

※複数の利用目的で参加される場合があるため、計は相談人数（15 人）とは一致しません。

## ７　ふくいウイメンズ・オアシス（ふくい女性つながりサポート事業）の利用状況（R3.7.1～R4.3.31）

＜利用者数＞

| 区　　分 | | 開催数（回） | 割合（%） | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| **ピアサポートサロン参加者** | | **６３** | **１００．０** | **２５３** | **３８．５** |
| 内訳 | ふくい女性財団主催 | （２５）　１９ | ３０．２ | ７４ | ２９．３ |
| | ピアサポーター連携 | （４６）　３８ | ６０．３ | １４２ | ５６．１ |
| | 出張サロン | （７）　６ | ９．５ | ３７ | １４．６ |
| | 計 | （７８）　６３ | １００．０ | ２５３ | １００．０ |
| **その他（問い合わせ等）** | | | | **４０４** | **６１．５** |
| 内訳 | 来館 | | | ２５６ | ６３．４ |
| | 電話 | | | １４８ | ３６．６ |
| | 計 | | | ４０４ | １００．０ |
| **計** | | **６３** | **１００．０** | **６５７** | **１００．０** |

（　）内は企画数

＜ピアサポーター登録者数＞

| 区　　分 | 人数・団体数（人・団体） |
|---|---|
| 登録者（個人） | 1 |
| 登録者（グループ） | 8 |
| **計** | **9** |

＜生理用品配布数＞

| 区　　分 | 配布数（セット） |
|---|---|
| ふくいウイメンズ･オアシス | ４９２ |
| 出張サロン（敦賀） | ９７ |
| 出張サロン（小浜） | ３５ |
| **計** | **６２４** |

## ８　女性総合相談・ＤＶ被害者相談の利用状況（R3.4.1～R4.3.31）

＜相談者数＞

| 区分 | | | | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般相談 | 相談者数 | | | １，０４７ | ９２．３ |
| | 内訳 | 主な相談内容 | 体・健康面 | ３ | ０．３ |
| | | | 心・精神面 | ６１９ | ５９．１ |
| | | | 夫について | ７３ | ７．０ |
| | | | 子どもについて | １７ | １．６ |
| | | | 他の家族について | ３１ | ３．０ |
| | | | 職場環境について | １５ | １．４ |
| | | | ＤＶ暴力被害 | ２０３ | １９．４ |
| | | | 他の暴力被害 | １６ | １．５ |
| | | | その他 | ７０ | ６．７ |
| | | | 計 | １，０４７ | １００．０ |
| | | 利用形態 | 来　館 | １２４ | １１．８ |
| | | | 電　話 | ９２３ | ８８．２ |
| | | | 計 | １，０４７ | １００．０ |
| 特別相談 法律相談 | 相談者数 | | | ５７ | ５．０ |
| | 内訳 | 主な相談内容 | 金銭問題 | ７ | １２．３ |
| | | | 離婚 | ２３ | ４０．３ |
| | | | ＤＶ暴力被害 | １９ | ３３．３ |
| | | | 他の暴力被害 | １ | １．８ |
| | | | 性被害 | ０ | ０．０ |
| | | | その他 | ７ | １２．３ |
| | | | 計 | ５７ | １００．０ |
| | | 利用形態 | 来　館 | ５７ | １００．０ |
| | | | 電　話 | ０ | ０．０ |
| | | | 計 | ５７ | １００．０ |
| 特別相談 こころの相談 | 相談者数 | | | ３０ | ２．７ |
| | 内訳 | 主な相談内容 | 心理・性・更年期 等 | １ | ３．４ |
| | | | ＤＶ暴力被害 | １０ | ３３．３ |
| | | | 他の暴力被害 | ６ | ２０．０ |
| | | | その他 | １３ | ４３．３ |
| | | | 計 | ３０ | １００．０ |
| | | 利用形態 | 来　館 | ３０ | １００．０ |
| | | | 電　話 | ０ | ０．０ |
| | | | 計 | ３０ | １００．０ |
| | 特別相談　計 | | | ８７ | |
| 合　計 | | | | １，１３４ | １００．０ |

関係機関へ繋ぎ、連携した件数（内数）　　５１件

＜男女別内訳＞

| 性別 | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|
| 女性 | １，１２３ | ９９．０ |
| 男性 | １１ | １．０ |
| 計 | １，１３４ | １００．０ |

＜年代別内訳＞

| 年代 | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|
| １０歳代 | ４ | ０．３ |
| ２０歳代 | ３５ | ３．１ |
| ３０歳代 | １８６ | １６．４ |
| ４０歳代 | ４６７ | ４１．２ |
| ５０歳代 | １９６ | １７．３ |
| ６０歳代 | ２３０ | ２０．３ |
| ７０歳代 | １６ | １．４ |
| ８０歳以上 | ０ | ０．０ |
| 計 | １，１３４ | １００．０ |

＜利用形態別内訳＞

| 形態 | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|
| 来館 | ２１１ | １８．６ |
| 電話 | ９２３ | ８１．４ |
| 計 | １，１３４ | １００．０ |

＜配偶者等暴力被害者＞

（再掲）

| | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|
| 一般相談 | ２０３ | ８７．５ |
| 特別相談 | | |
| 法律 | １９ | ８．２ |
| こころ | １０ | ４．３ |
| 計 | ２３２ | １００．０ |

## ９　生涯学習に関する相談等の状況（R3.4.1～R4.3.31）

＜相談件数＞

| | | | 件数（件） | 割合（%） |
|---|---|---|---|---|
| 相談件数 | | | ７，６２４ | |
| | | 個　人 | １，６８８ | ２２．１ |
| | | 団　体 | ５，５３２ | ７２．６ |
| | | 機　関 | ４０４ | ５．３ |
| | | 計 | ７，６２４ | １００．０ |
| | 相談方法 | 来　館 | ２，７６６ | ３６．３ |
| | | 電　話（メール含） | ４，２１３ | ５５．２ |
| | | ファックス | ３８１ | ５．０ |
| | | 郵　便 | ２６４ | ３．５ |
| | | 計 | ７，６２４ | １００．０ |
| | 相談内容 | 講　座 | ４，７５９ | ６２．４ |
| | | 施　設 | ２，６０９ | ３４．２ |
| | | 教　材 | １４３ | １．９ |
| | | 講師・指導者 | １０ | ０．１ |
| | | 団体・サークル | １５ | ０．２ |
| | | 調査研究 | ３ | ０．１ |
| | | その他 | ８５ | １．１ |
| | | 計 | ７，６２４ | １００．０ |

## １０　人材の登録状況

（１）生涯学習リーダーバンク登録者の状況（令和４年３月３１日現在）

＜登録者数＞

| | | | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|---|---|
| 登録者数 | | | １０７ | |
| | 性別 | 男　性 | ５９ | ５５．１ |
| | | 女　性 | ４８ | ４４．９ |
| | | 計 | １０７ | １００．０ |
| | 年齢別 | ２９歳以下 | ０ | ０．０ |
| | | ３０～４９歳 | ５ | ４．７ |
| | | ５０～６９歳 | ４１ | ３８．３ |
| | | ７０歳以上 | ６１ | ５７．０ |
| | | 不　詳 | ０ | ０．０ |
| | | 計 | １０７ | １００．０ |
| | 居住市町別 | 福井市 | ２４ | ２２．４ |
| | | 敦賀市 | ９ | ８．４ |
| | | 小浜市 | ２ | １．９ |
| | | 大野市 | ０ | ０．０ |
| | | 勝山市 | ８ | ７．５ |
| | | 鯖江市 | １１ | １０．３ |
| | | あわら市 | ５ | ４．７ |
| | | 越前市 | ８ | ７．５ |
| | | 坂井市 | ６ | ５．６ |
| | | 永平寺町 | ２ | １．９ |
| | | 池田町 | ０ | ０．０ |
| | | 南越前町 | ３ | ２．８ |
| | | 越前町 | ８ | ７．５ |
| | | 美浜町 | ４ | ３．７ |
| | | 高浜町 | ７ | ６．５ |
| | | おおい町 | ４ | ３．７ |
| | | 若狭町 | ６ | ５．６ |
| | | 計 | １０７ | １００．０ |

＜指導分野別登録者数＞

| | 人数（人） | 割合（%） |
|---|---|---|
| 教育関係一般 | １５ | １３．５ |
| 人間・社会 | ６ | ５．４ |
| 自然科学 | ３ | ２．７ |
| 産業・技術 | ３ | ２．７ |
| 芸術・文化 | ３０ | ２７．０ |
| スポーツ・レクリエーション | ６ | ５．４ |
| 家庭生活・趣味 | ２８ | ２５．３ |
| ボランティア・国際関係 | ５ | ４．５ |
| 白川文字学 | １５ | １３．５ |
| 計 | １１１ | １００．０ |

※複数の分野で登録されている場合があるため、計は登録者数（107 人）とは一致しません。

## １１　オンラインによる情報提供

（1）福井県生涯学習情報ネットワークシステム
（愛称「まなびぃネットふくい」）

まなびぃネットふくい
福井県生涯学習情報ネットワークシステム

福井県内の生涯学習関連情報をだれもが、いつでも、どこでも、手軽に入手していただけるよう、インターネット上で提供するシステムです。ＵＲＬは「http://www.manabi.pref.fukui.jp/manabi/」です。「まなびぃネットふくい」で検索できます。

（パソコン版　トップ画面例）

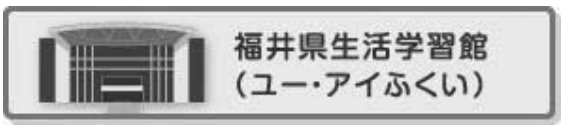
（スマートフォン版　トップ画面例）

（2）メールマガジン（ｅマガふくい　ユー・アイふくい版）

生涯学習や男女共同参画・女性活躍推進に関する講座等の情報を無料で配信しています。

登録者数　　９９０人（令和４年３月３１日現在）

（3）福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）サイト




各事業や貸室の利用手順などを紹介しています。各種申請書の様式をダウンロードできます。
ＵＲＬは「http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/」です。「ユー・アイふくい」で検索できます。

（パソコン版　トップ画面例）

（スマートフォン版　トップ画面例）

（4）福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）フェイスブック

福井ライフ・アカデミーが主催する生涯学習に関する講座やふくい女性財団が主催する男女共同参画・女性活躍推進に関する講座などの情報を掲載しています。

## １２　視聴覚教材、機器、図書（令和４年３月３１日現在）

（１）映像ライブラリー保有教材（貸出可能）

| 分　野 | ＶＨＳビデオ | １６ミリフィルム | ＣＤ－ＲＯＭ | ＤＶＤ |
|---|---|---|---|---|
| 教育関係一般 | 1,193 | 139 | 8 | 215 |
| 人間・社会 | 588 | 17 | 9 | 173 |
| 自然科学 | 101 | 17 | 3 | 42 |
| 産業・技術 | 138 | 18 | 2 | 53 |
| 芸術・文化 | 200 | 6 | 1 | 63 |
| 体育・スポーツ・レクリエーション | 25 | 1 | 0 | 15 |
| 家庭生活・趣味 | 316 | 40 | 2 | 20 |
| ボランティア・市民生活 | 143 | 15 | 2 | 35 |
| 学校教育 | 435 | 82 | 25 | 93 |
| 計 | 3,139 | 335 | 52 | 709 |

（２）映像ライブラリー貸出実績（令和３年度）

| 区　分 | ビデオ | １６ミリフィルム | ＣＤ－ＲＯＭ | ＤＶＤ |
|---|---|---|---|---|
| 貸出件数 | 6 | 4 | 1 | 41 |
| 貸出本数 | 14 | 12 | 2 | 112 |
| 視聴者数 | 135 | 172 | 27 | 1,484 |

（３）視聴覚機材保有状況

①　教材管理室　（◎は館内のみ貸出対象、○は館内・館外貸出対象）

| | | |
|---|---|---|
| １６ミリ映写機 | ２台 | ○ |
| 液晶プロジェクター | ３台 | ◎ |
| １６ミリフィルム自動検査機 | １台 | |
| ビデオライブラリー | １式 | |
| オーディオライブラリー | １式 | |
| ＤＶＤプレーヤー | ２台 | ◎ |

| | | |
|---|---|---|
| ＯＨＣ（書画カメラ） | ２台 | ◎ |
| 移動用スクリーン | ５台 | ○ |
| スクリーン幕 | １幕 | ○ |
| ビデオプロジェクター | ４台 | ○ |
| ビデオカセットプレーヤー | １台 | ※館外貸出のみ可能 |

②　映像ホール

| | |
|---|---|
| プロジェクター | １式 |
| ＶＨＳ－ＶＴＲ | １台 |
| ブルーレイプレーヤー | １台 |

| | |
|---|---|
| カセットテープレコーダー | １台 |
| パソコン（Ｗｉｎｄｏｗｓ、マルチドライブ） | １台 |

③　情報ルーム

| | |
|---|---|
| ビデオブース | ４卓 |

| | |
|---|---|
| オーディオブース | ２卓 |

## （４）情報ルーム設置視聴覚教材（個人視聴用）

① ＤＶＤ、ＶＨＳ　　総数 443点

| | |
|---|---|
| 郷土（福井っ子はいま、ライフ・アカデミーテレビ講座） | 133点 |
| 教育関係一般（生涯学習一般、青少年教育、男性・女性　他） | 167点 |
| 人間・社会（歴史、経済　他） | 39点 |
| 自然科学（自然科学一般、動物　他） | 9点 |
| 産業・技術（産業・技術一般、観光　他） | 28点 |
| 芸術・文化（芸術・文化一般、美術　他） | 15点 |
| 体育・スポーツ・レクリエーション（球技） | 4点 |
| 家庭生活・趣味（家庭生活・趣味一般、娯楽　他） | 48点 |

② Ｌ　Ｄ　　総数 90点

| | |
|---|---|
| 自然科学（動物・植物、生物） | 10点 |
| 産業・技術（産業・技術一般、交通） | 2点 |
| 芸術・文化（音楽、舞踊） | 33点 |
| 家庭生活・趣味（娯楽） | 45点 |

③ Ｃ　Ｄ　　総数 324点

| | |
|---|---|
| クラシック | 119点 |
| ジャズ | 6点 |
| 演歌 | 15点 |
| ポップス | 147点 |
| その他 | 37点 |

## （５）情報ルーム設置図書

（冊）

| | | 男女共同参画関係図書 | 生涯学習関係図書 |
|---|---|---|---|
| 購　入 | Ｒ３　新規 | 30 | 99 |
| | Ｒ２　以前 | 3,223 | 1,187 |
| | 計 | 3,253 | 1,286 |
| 寄　贈 | Ｒ３　新規 | 6 | 10 |
| | Ｒ２　以前 | 108 | 968 |
| | 計 | 114 | 978 |
| 計 | Ｒ３　新規 | 36 | 109 |
| | Ｒ２　以前 | 3,331 | 2,155 |
| | 計 | 3,367 | 2,264 |

# Ⅴ　施設概要

## １　建築概要

敷地面積　　９，５８０㎡

建築面積　　３，５８５．６４㎡

延床面積　　９，３２２．４８㎡

構造規模　　鉄筋コンクリート造　地上３階　地下１階

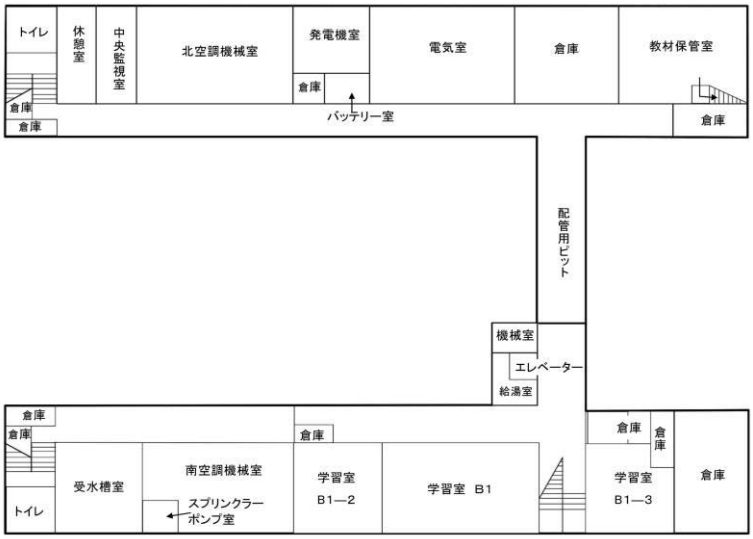
建築期間　　起工　平成５年１０月　～　竣工　平成７年５月

総工事費　　約５３億円

## ２　施設配置図

**B1F**

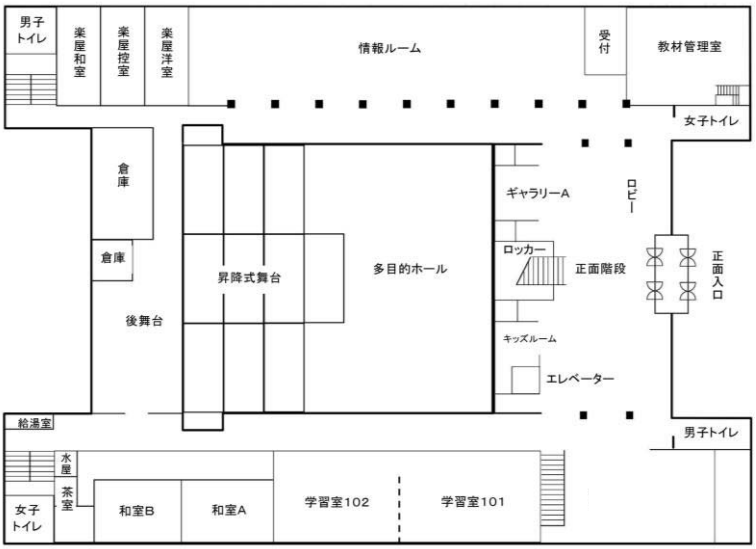
| 室　名 | 面積（㎡） | 定員（人） |
|---|---|---|
| 学習室Ｂ１ | 114 | 42 |
| 学習室Ｂ１－２ | 73 | 24 |
| 学習室Ｂ１－３ | 62 | 24 |



学 習 室 Ｂ １

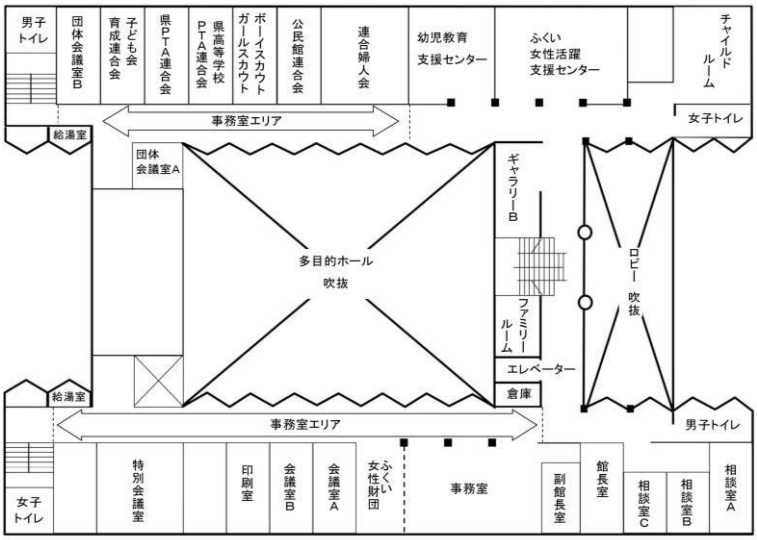
## １　Ｆ

| 室　名 | 面積（㎡） | 定員（人） |
|---|---|---|
| 学習室１０１ | 112 | 42 |
| 学習室１０２ | 112 | 42 |
| 和室Ａ | 145 | 35 |
| 和室Ｂ | | 35 |
| 茶室 | | ― |
| 多目的ホール | 720 | 700 |
| 情報ルーム | 457 | ― |
| 楽屋（和室） | 28 | 8 |
| 楽屋（洋室） | 28 | 9 |
| ギャラリーＡ | 21 | ― |




## ２　Ｆ

| 室　名 | 面積（㎡） | 定員（人） |
|---|---|---|
| 相談室 | 87 | ― |
| 事務室 | 161 | ― |
| ファミリールーム | 22 | ― |
| チャイルドルーム | 73 | ― |
| ふくい女性活躍支援センター | 74 | ― |
| 幼児教育支援センター | 74 | ― |
| 団体事務室 | 344 | ― |
| ギャラリーＢ | 39 | ― |

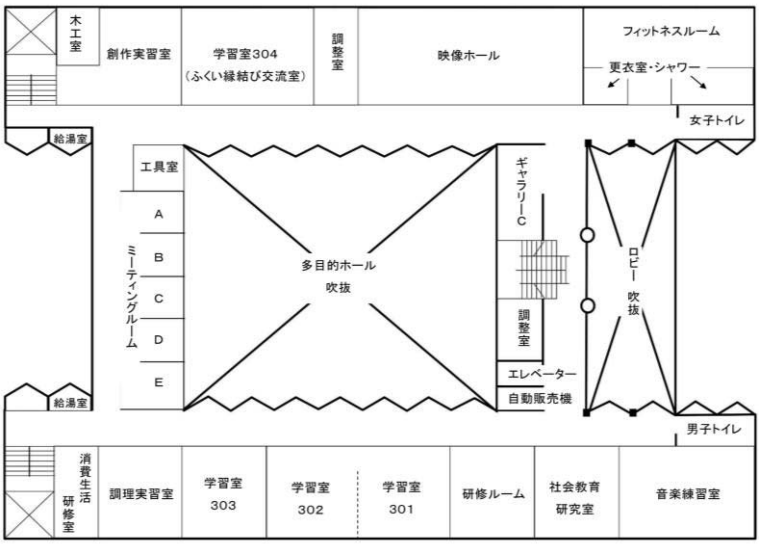


多 目 的 ホ ー ル

和　室

## ３　Ｆ

| 室　名 | 面積（㎡） | 定員（人） |
|---|---|---|
| 音楽練習室 | 109 | ― |
| 学習室３０１ | 73 | 30 |
| 学習室３０２ | 75 | 30 |
| 学習室３０３ | 75 | 24 |
| 調理実習室 | 75 | 40 |
| 消費生活研修室 | 39 | ― |
| フィットネスルーム | 114 | 23 |
| 映像ホール | 189 | 130 |
| 学習室３０４<br>（ふくい縁結び交流室） | 112 | 36 |
| 創作実習室 | 95 | 30 |
| 木工室 | 19 | ― |
| ミーティングルームＡ | 37 | 16 |
| ミーティングルームＢ | 37 | 16 |
| ミーティングルームＣ | 37 | 16 |
| ミーティングルームＤ | 37 | 16 |
| ミーティングルームＥ | 37 | 16 |
| ギャラリーＣ | 39 | ― |



調　理　実　習　室

映　像　ホ　ー　ル

フィットネスルーム

# 関　係　資　料

## （１）福井県生活学習館の設置および管理に関する条例（平成７年福井県条例第４号）

（設置）

第１条　男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図るため、福井県生活学習館（以下「生活学習館」という。）を設置する。

（位置）

第２条　生活学習館は、福井市に置く。

（業務）

第３条　生活学習館は、次に掲げる業務を行う。

（１）　女性の自立および社会参加（以下「女性の自立等」という。）の促進ならびに生涯学習の充実を図るための講座、研修会等の開催

（２）　女性の自立等の促進および生涯学習の充実に関する調査、研究および情報の提供

（３）　女性の自立等の促進および生涯学習の充実に関する会議、研修等を行うために必要な施設および設備の提供

（４）　前３号に掲げるもののほか、生活学習館の設置の目的にふさわしい業務

（職員）

第４条　生活学習館に、館長その他必要な職員を置く。

（施設等の使用の承認）

第５条　別表に掲げる生活学習館の施設または設備を使用しようとする者は、知事の承認を受けなければならない。

（使用料）

第６条　別表に掲げる生活学習館の施設または設備を使用する者は、同表に掲げる使用料を納付しなければならない。

（使用料の不還付）

第７条　既に納付した使用料は、還付しない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

（使用料の免除）

第８条　知事は、特に必要があると認めるときは、使用料の全部または一部を免除することができる。

（禁止行為）

第９条　生活学習館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

（１）　生活学習館の施設または設備を損傷し、または滅失すること。

（２）　生活学習館内の秩序または風俗を乱す行為をすること。

（３）　知事の承認を受けないで、物品等の販売、寄附金の募集その他これらに類する行為をすること。

（監督処分）

第10条　知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、第５条および前条第３号の承認を取り消し、その効力を停止し、もしくはその条件を変更し、または行為の中止もしくは生活学習館を原状に回復することその他必要な措置を命ずることができる。

（１）　この条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反している者

（２）　第５条および前条第３号の承認に付した条件に違反している者

（３）　偽りその他不正な手段により第５条および前条第３号の承認を受けた者

（規則への委任）

第11条　この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、平成７年７月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成９年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成１１年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成１４年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

この条例は、令和元年１０月１日から施行する。

別表（第５条、第６条関係）

１　施設使用料　（単位　円）

| 時間帯／室　名 | 午　前 | 午　後 | 夜　間 | 全　日 |
|---|---|---|---|---|
| 学習室　１０１ | 3,980 | 5,350 | 3,980 | 13,310 |
| 学習室　１０２ | 3,980 | 5,350 | 3,980 | 13,310 |
| 学習室　３０１ | 2,620 | 3,450 | 2,620 | 8,690 |
| 学習室　３０２ | 2,720 | 3,560 | 2,720 | 9,000 |
| 学習室　３０３ | 2,720 | 3,560 | 2,720 | 9,000 |
| 学習室　３０４ | 3,360 | 4,480 | 3,360 | 11,200 |
| 学習室　Ｂ１ | 4,080 | 5,450 | 4,080 | 13,610 |
| 学習室　Ｂ１－２ | 2,620 | 3,450 | 2,620 | 8,690 |
| 学習室　Ｂ１－３ | 2,200 | 2,930 | 2,200 | 7,330 |
| 和　室　Ａ | 1,990 | 2,620 | 1,990 | 6,600 |
| 和　室　Ｂ | 1,990 | 2,620 | 1,990 | 6,600 |
| 茶　室 | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |
| ミーティングルームＡ | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |
| ミーティングルームＢ | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |
| ミーティングルームＣ | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |

（単位　円）

| 室　名＼時間帯 | | 午　前 | 午　後 | 夜　間 | 全　日 |
|---|---|---|---|---|---|
| ミーティングルームD | | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |
| ミーティングルームE | | 1,360 | 1,780 | 1,360 | 4,500 |
| 映像ホール | | 7,960 | 10,580 | 7,960 | 26,500 |
| 創作実習室 | | 3,350 | 4,500 | 3,350 | 11,200 |
| 木　工　室 | | 730 | 950 | 730 | 2,410 |
| 音楽練習室 | | 4,500 | 6,080 | 4.500 | 15,080 |
| 調理実習室 | | 2,720 | 3,560 | 2,720 | 9,000 |
| 消費生活研修室 | | 1,470 | 1,880 | 1,470 | 4,820 |
| 多目的ホール | 平　日 | 25,560 | 34,250 | 25,560 | 85,370 |
| | 土・日曜、休日 | 28,080 | 37,720 | 28,080 | 93,880 |
| 楽屋（和室） | | 1,050 | 1,360 | 1,050 | 3,460 |
| 楽屋（洋室） | | 1,050 | 1,360 | 1,050 | 3,460 |
| フィットネスルーム | | 3,980 | 5,450 | 3,980 | 13,410 |
| ギャラリーA | | 1,470 | 1,880 | 1,470 | 4,820 |
| ギャラリーB | | 1,470 | 1,880 | 1,470 | 4,820 |
| ギャラリーC | | 1,470 | 1,880 | 1,470 | 4,820 |

備　考

1　「午前」とは９時から１２時まで、「午後」とは１３時から１７時まで、「夜間」とは１８時から２１時まで、「全日」とは９時から２１時までをいう。

2　「休日」とは国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日をいう。

3　多目的ホールの使用者が入場料を徴収する場合の使用料は、この表に定める額に次に掲げる額を加算した額とする。

（1）　入場料の最高額が１，０００円以上３，０００円未満の場合は、この表に定める額の６割に相当する額

（2）　入場料の最高額が３，０００円以上５，０００円未満の場合は、この表に定める額の８割に相当する額

（3）　入場料の最高額が５，０００円以上の場合は、この表に定める額の１０割に相当する額

4　使用者が冷暖房施設を使用する場合の使用料は、この表に定める額にその１割に相当する額を加算した額とする。

5　多目的ホール（楽屋を含む。以下同じ。）を商品の宣伝、展示、販売等営利目的のために使用する場合の使用料は、この表に定める額にその５割に相当する額を加算した額とする。

6　準備、練習等のために多目的ホールを使用する場合の使用料は、この表に定める額の５割に相当する額とする。

２　設備使用料

| 設備名 | | | 単位 | 金額（単位　円） |
|---|---|---|---|---|
| 照明装置 | Aセット | ボーダーライト（２列）<br>シーリングライト（１列）<br>サスペンションライト（１列） | １式 | １時間につき　1,290 |

| 設備名 | | | 単位 | 金額（単位　円） |
|---|---|---|---|---|
| 照明装置 | Ｂセット | ボーダーライト（２列）<br>シーリングライト（１列）<br>サスペンションライト（２列）<br>アッパーホリゾンライト<br>ロアーホリゾンライト | １式 | １時間につき　3,250 |
| | フォロースポットライト | | １台 | １時間につき　800 |
| 音響装置 | 拡声装置 | | １式 | １時間につき　750 |
| | マイクロホン | | １本 | １回３時間以内　630<br>１時間増すごとに　210 |
| | ワイヤレスマイクロホン | | １本 | １回３時間以内　870<br>１時間増すごとに　290 |
| | コンパクトディスクプレイヤー | | １台 | １回３時間以内　630<br>１時間増すごとに　210 |
| | カセットテープレコーダー | | １台 | １回３時間以内　630<br>１時間増すごとに　210 |
| 映像設備 | スーパープロジェクター | | １式 | １時間につき　1,600 |
| | １６ミリ映写機 | | １式 | １時間につき　750 |
| 道具等 | 演　台 | | １式 | １回３時間以内　360<br>１時間増すごとに　110 |
| | 会議机 | | １脚 | １回３時間以内　70<br>１時間増すごとに　20 |
| 反響板 | | | １式 | １回３時間以内　3,140<br>１時間増すごとに　1,040 |
| ピアノ | | | １台 | １回３時間以内　3,770<br>１時間増すごとに　1,250 |
| 電　源 | | | １箇所 | １回３時間以内　360<br>１時間増すごとに　110 |

備　考

１　利用時間に１時間未満の端数があるときは、１時間として計算する。

２　会議机および電源の使用料については、多目的ホールを使用するときに限り徴収する。

## （２）福井県生活学習館の設置および管理に関する条例施行規則（平成７年福井県規則第４６号）

（趣旨）

第１条　この規則は、福井県生活学習館の設置および管理に関する条例（平成７年福井県条例第４号。以下「条例」という。）第１１条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第２条　福井県生活学習館（以下「生活学習館」という。）の開館時間は、午前９時から午後９時までとする。ただし、情報ルームにあっては、午前９時から午後８時までとする。

２　生活学習館長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第３条　生活学習館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

（１）　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。）

（２）　第３日曜日

（３）　休日の翌日（土曜日、日曜日または休日に当たるときを除く。）

（４）　１２月２８日から翌年の１月４日まで

２　館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日を変更することができる。

（施設等の使用の承認）

第４条　条例第５条の規定により、生活学習館の施設または設備（以下「施設等」という。）の使用の承認を受けようとする者は、使用しようとする日の属する月の６月前（多目的ホールにあっては、１２月前）の月の初日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から使用しようとする日の３日前（多目的ホールにあっては、１０日前）までに福井県生活学習館使用承認申請書（様式第１号）を館長に提出しなければならない。

２　館長は、条例第５条の承認をしたときは、福井県生活学習館使用承認書（様式第２号）を交付するものとする。

（使用者の遵守事項）

第５条　施設等の使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、次に掲げる事項を守らなければならない。

（１）　承認を受けた使用目的以外に施設等を使用しないこと。

（２）　承認を受けた施設等を転貸し、または当該承認に基づく権利を譲渡しないこと。

（３）　その他生活学習館の管理上支障がある行為をしないこと。

２　使用者は、施設等の使用を終了したときは、原状に回復しなければならない。

（使用料の還付）

第６条　条例第７条ただし書の規定により、使用料を還付できる場合は、次に掲げるとおりとする。

（１）　災害その他不可抗力により施設等の使用ができなくなったとき。

（２）　その他館長がやむを得ない事由があると認めるとき。

２　使用料の還付を受けようとする者は、福井県生活学習館使用料還付申請書（様式第３号）を館長に提出しなければならない。

（使用料の免除）

第７条　条例第８条の規定により、使用料を免除できる場合およびその免除の額は、次に掲げるとおりとする。

（１）　県が設置目的に添った事業を主催するとき　使用料に相当する額

（２）　県が設置目的に添った事業を共催するとき　使用料の２分の１に相当する額

（３）　国、市町または女性の自立および社会参加、社会教育もしくは生涯学習を目的とする団体で館長が認めるものが設置目的に添って使用するとき　使用料の２分の１に相当する額

（４）　その他館長が特に必要があると認めるとき　館長が必要と認める額

２　使用料の免除を受けようとする者は、福井県生活学習館使用料免除申請書（様式第４号）を館長に提出しなければならない。

（制限行為の承認申請）

第８条　条例第９条第３号の承認を受けようとする者は、福井県生活学習館内制限行為承認申請書（様式第５号）を館長に提出しなければならない。

（施設等の損傷または滅失の届出）
第９条　使用者は、施設等を損傷し、または滅失したときは、遅滞なくその旨を館長に届け出て、その指示に従わなければならない。
（その他）
第10条　この規則で定めるもののほか、生活学習館の管理および運営に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この規則は、平成７年７月１日から施行する。
附　則
この規則は、平成１８年３月３日から施行する。
附　則
この規則は、令和３年４月１日から施行する。

＜様式略＞

**（３）福井県行政組織規則（昭和３９年福井県規則第２１号）**（抜粋）

（業務）
第 38 条の 11　生活学習館は、男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図るため、講座および研修会の開催、調査および研究ならびに施設および設備の提供に関する事務をつかさどる。
（名称および位置）
第 38 条の 12　生活学習館の名称および位置は、次のとおりとする。

| 名　称 | 位　置 |
|---|---|
| 福井県生活学習館 | 福　井　市 |

（分課および分掌事務）
第 38 条の 13　生活学習館に次の課を置く。
（１）　男女参画・企画管理課
（２）　生涯学習推進課
２　前項の各課の分掌事務は、次のとおりとする。
男女参画・企画管理課
（１）　庶務に関すること（他の組織の所管に属するものを除く。）。
（２）　生活学習館の企画運営に関すること。
（３）　生活学習館の施設および設備の管理運営および利用に関すること。
（４）　相談事業に関すること（他課の所管に属するものを除く。）。
（５）　生涯学習情報ネットワークシステムの開発および運営に関すること。
（６）　男女が共に参画する社会づくりに関する指導者の養成に関すること。
（７）　男女が共に参画する社会づくりに関する講座、研修、調査および研究に関すること。
（８）　男女が共に参画する社会づくりに関する情報の収集および提供に関すること。

（９）　配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の規定に基づく配偶者からの暴力による被害者の相談および支援に関すること（被害者の一時保護に係るものを除く。）。
(10)　ふくい女性活躍支援センターに関すること。
生涯学習推進課
（１）　生涯学習に関する総合企画に関すること。
（２）　生涯学習に関する連絡および調整に関すること。

## （４）福井県教育委員会行政組織規則（昭和４６年福井県教育委員会規則第５号）（抜粋）

（設置、名称等）
第13条　出先機関として、生涯学習センターを置く。

| 名　　称 | 位　置 | 所管区域 |
|---|---|---|
| 福井県教育庁生涯学習センター | 福　井　市 | 県下全域 |

（生涯学習センターの所掌事務）
第14条の２　生涯学習センターの所掌事務は、次のとおりとする。
（１）　生涯学習の指導者養成に関すること。
（２）　生涯学習の講座および研修の開催ならびに調査、研究および相談に関すること。
（３）　生涯学習についての情報収集および提供に関すること。
（４）　社会教育の講座および研修の開催に関すること。
（５）　福井県映像ライブラリー（以下「映像ライブラリー」という。）の運営に関すること。
２　生涯学習センターの支所として、小浜市に福井県立若狭図書学習センター（以下「若狭図書学習センター」という。）を置く。
３　若狭図書学習センターの分掌事務は、第１項各号に掲げる事務のほか、第22条第２項第１号から第７号までに掲げる事務とする。
４　生涯学習センターおよび若狭図書学習センターに映像ライブラリーを置く。
５　映像ライブラリーの業務は、次のとおりとする。
（１）　視聴覚教育の教材教具（以下「教材等」という。）の制作および一般の利用に関すること。
（２）　教材等の調査および研究に関すること。
（３）　地域ライブラリーの連絡調整に関すること。

## （５）福井県映像ライブラリー備付教具教材使用規則（昭和３２年福井県教育委員会規則第６号）

（目的）
第１条　福井県映像ライブラリー（以下「ライブラリー」という。）備付けの教具教材（以下「教具教材」という。）　の使用に関する借用手続、技術検定その他必要な事項については、条例その他別に定めのある場合を除くほか、この規則の定めるところによる。
（貸与）
第２条　福井県教育委員会（以下「委員会」という。）は、教育的または文化的目的のために教具教材を使用しようとするときに、これを貸与する。ただし、次の各号の一に該当するときは、この限りではない。
（１）　営利を目的としていると認められるとき。
（２）　特定の政党または宗派の宣伝に使用されると認められるとき。
（３）　その他委員会において貸与を不適当と認めたとき。
（借用手続）
第３条　教具教材の貸与を受けようとするときは、ライブラリーに対し別記様式第１号による教具教材借用申請書を提出しなければならない。
（転貸禁止）
第４条　貸与を受けた教具教材は、転貸してはならない。

（返還）
第５条　貸与を受けた教具教材は、借用期間内に必ず返還しなければならない。
（事故報告）
第６条　貸与を受けた教具教材について、亡失、き損その他の事故が生じたときは、すみやかにその旨を委員会に報告して、その指示を受けなければならない。
（損害賠償）
第７条　教具教材について、亡失、き損その他の事故により損害を生じたときは、その損害を賠償しなければならない。
（映写機の登録）
第８条　貸与を受けた１６ミリ映画フィルムを映写する映写機は、委員会の登録を受けたものでなければならない。
（映写機の登録手続）
第９条　前条の登録を受けようとするものは、別記様式第２号による映写機登録申請書を提出しなければならない。
２　委員会は、前項の登録申請を受けた映写機を検定の上、ライブラリーに登録し、別記様式第３号による映写機登録証を交付する。
（映写機の検査）
第 10 条　委員会は、登録を受けた映写機について、毎年定期に検査を行う。ただし、必要があると認めるときは、 臨時に行うことがある。
（映写機登録の取消）
第 11 条　委員会は、前条の検査を受けなかった映写機または検査に合格しなかった映写機の登録を取り消すことがある。
（映写機操作の免許）
第 12 条　貸与を受けた１６ミリ映画フィルムを映写する者は、委員会の免許を受けた者でなければならない。
（講習および検定）
第 13 条　委員会は、１６ミリ映写技術講習において全課程を受講し、かつ、所定の検定に合格した者に対し、１６ミリ映写機操作の免許を与え、別記様式第４号による免許証を交付する。
２　前項の講習および検定は、次の表に掲げる学科および実技について行うものとする。

| 学　　科 | 実　　技 |
|---|---|
| 視聴覚教育に関する知識<br>１６ミリ映写機の構造に関する知識<br>１６ミリ映写機の操作に必要な電気に関する知識<br>その他教具教材に関する知識 | １６ミリ映写機の操作<br>１６ミリ映写機の調整<br>１６ミリ映画フィルムの取扱および補修 |

（免許証の記載事項の変更の届出）
第 14 条　免許証の記載事項に変更を生じたときは、免許証を添えて委員会に届け出なければならない。
（免許証の再交付）
第 15 条　免許証を破り、汚し、または失ったときは、委員会に再交付を申請することができる。
（使用報告）
第 16 条　貸与を受けた１６ミリ映画フィルムは、返還の際、別記様式第 5 号による使用報告書を委員会に提出しなければならない。

＜様式略＞

## （６）福井ライフ・アカデミー設置要綱

（設置）
第１条　県民の学習需要の多様化・高度化に応え、いつでも、どこでも、だれでも、なんでも、生涯にわたって学習することができるよう、学習機会・内容を整理・体系化し、提供することを目的として福井ライフ・アカデミー（以下「アカデミー」という。）を設置する。
（事業内容）
第２条　アカデミーは、次に掲げる事業を行う。
（１）　講演・講座・セミナー等の実施に関すること。
（２）　情報の収集・提供および広報活動に関すること。
（３）　その他
（構成）
第３条　アカデミーは、福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）および講演、講座、セミナー等を共催または連携で実施する機関で構成する。
（本部）
第４条　本部は、アカデミーの事業を総合調整し、実施する。
（組織）
第５条　本部に、学長および副学長を置く。
２　学長は、知事をもって充てる。
３　副学長は、教育長および地域戦略部長をもって充てる。
（学長および副学長）
第６条　学長は、アカデミーを統括し代表する。
２　副学長は、学長を補佐し学長に事故あるときは、その職務を代理する。
（運営委員会）
第７条　アカデミーの事業運営に関する事項を協議するため、福井ライフ・アカデミー運営委員会を開催する。
２　運営委員会の開催に関する事項は別に定める。
（事務局）
第８条　本部に、事務局長、事務局次長および事務局員を置く。
２　事務局長は、福井県生涯学習センター所長をもって充てる。
３　事務局次長は、福井県生涯学習センター次長をもって充てる。
４　事務局員は、福井県生涯学習センター職員および福井県若狭図書学習センター職員をもって充てる。
（その他）
第９条　この要綱に定めるもののほか、アカデミーの運営に関し必要な事項は本部が定める。

附　則
この要綱は、平成４年７月１日から施行する。
この要綱は、平成７年７月１日から施行する。
この要綱は、平成７年１０月１日から施行する。
この要綱は、平成１７年４月１日から施行する。
この要綱は、平成２２年４月１日から施行する。
この要綱は、平成２７年５月１９日から施行する。
この要綱は、平成２９年４月１日から施行する。
この要綱は、令和元年６月１日から施行する。

## （7）福井ライフ・アカデミー事業実施要領

（趣旨）
第１条　この要領は、福井ライフ・アカデミー設置要綱に基づき、福井ライフ・アカデミーの事業実施について、必要な事項を定める。
（事業の区分）
第２条　事業は、実施主体により主催事業、共催事業および連携事業に区分する。
（１）　主催事業とは、福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）が企画、運営にあたるものをいう。
（２）　共催事業とは、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」に基づき本部と市町が実施する事業をいう。
（３）　連携事業とは、「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」に基づき本部以外の機関が独自に実施する事業をいう。
（事業費）
第３条　主催事業に要する費用は、福井県生涯学習センターが負担する。
２　共催事業に要する費用は、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」の定めるところによる。
３　連携事業に要する費用は、実施機関が負担する。
（広報）
第４条　主催事業、共催事業および連携事業の広報は本部と実施機関が行う。
（手続き）
第５条　共催事業および連携事業の運営方法は、次のとおりとする。
（１）　共催事業は、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」の定めるところによる。
（２）　連携事業は、「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」の定めるところによる。
（その他）
第６条　この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則
この要領は、平成４年７月１日から施行する。
この要領は、平成６年４月１日から施行する。
この要領は、平成７年７月１日から施行する。
この要領は、平成７年１２月１日から施行する。
この要領は、平成１０年９月１日から施行する。
この要領は、平成１２年４月１日から施行する。
この要領は、平成２２年４月１日から施行する。
この要領は、平成２３年４月１日から施行する。
この要領は、平成２９年４月１日から施行する。

## （8）福井ライフ・アカデミー運営委員会開催要領

（目的）
第１条　福井ライフ・アカデミー事業（以下「アカデミー」という。）の効果的な運営等に資するため、福井ライフ・アカデミー運営委員会（以下「運営委員会」という。）を開催する。
（協議事項）
第２条　運営委員会は、次に掲げる事項を協議する。
（１）　アカデミーの基本方針に関すること。
（２）　アカデミーの総合的かつ効果的な運営に関すること。

（構成）
第３条　運営委員会は、次に掲げる１０名以内の委員をもって構成する。
（１）　学識経験者
（２）　講座等を実施する機関の代表
（３）　学習者代表
（運営）
第４条　運営委員会は、県の出席依頼に基づき、開催する。
２　運営委員会の議事を進行するため、委員の互選により議長を選出する。
３　運営委員会においては、必要に応じ、委員以外の関係者を出席させることができる。
（その他）
第５条　この要領に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この要領は、平成２８年４月１日から適用する。

## （９）令和４年度 福井ライフ・アカデミー共催講座 実施要領

１　趣旨
この要領は、令和４年度における福井ライフ・アカデミー共催講座（以下「講座」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

２　講座の要件
講座は、次の（１）から（６）の全てを満たすことを要件とする。
（１）　市町の各所属が自ら企画し、実施するものであること。（他機関等への委託事業は対象としない。）
（２）　講師またはテーマは次の①～③のいずれかであること。
①令和３年１１月１６日付け生学セ第９７号で配布した「令和３年度版　福井県大学等教員講演テーマ集」に掲載されているテーマ（アレンジ可）から選択したもの
②福井県内の高等教育機関（大学、短大、高専）に所属する教員等が講師を務めるもの
③地域の課題解決を目指すテーマ、地域の発展に貢献するテーマまたは地域の歴史・文化・産業等を学ぶテーマの何れかであるもの
（３）　講演、ワークショップ、体験・実習などの形式とし、１回当たり６０分以上の時間をかけること。
（４）　他の市町からの参加も可とすること。
（５）　参加費を徴収する場合は、材料費実費程度に止めること。
（６）　著作権、特許権等の使用手続きや、その他法的に必要となる手続き等は市町において処理すること。

３　実施の流れ
講座の実施手続き等は、次のとおりとする。
（１）　市町（実施機関）は、別に定める提出期限までに、「開催希望調査票」（様式１）を福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）へ提出する。
（２）　本部は、予算と市町の開催希望を基に市町ごとの開催回数を内定し、通知する。
（３）　市町は、内定を受けた回数の講座を企画し、「企画案」（様式２）を本部へ提出する。
（４）　本部は、企画案を取りまとめ、福井ライフ・アカデミー共催講座協議会（以下「協議会」という。）に諮る。
（５）　市町は、協議会に出席し、企画案の説明等を行う。
（６）　市町は、協議会での意見を踏まえて企画案を修正し、講師等を依頼する。
（７）　市町は、講座開催日の３か月前までに「計画書」（様式３）を本部に提出する。

（8）　市町は、講座当日の会場設営や受付、司会進行等を担当する。
（9）　市町は、講座終了後１０日以内に「報告書」（様式４）を本部に提出する。
⑽　本部は、「報告書」を受理した後に謝金と交通費を講師に支払う。

4　本部の担う事項
（1）　福井ライフ・アカデミーニュースに掲載するとともに、福井県生活学習館や若狭図書学習センターにチラシを設置・掲示するなどにより広報する。
（2）　講師の謝金（上限２万円）と交通費（県規定の県内交通費）を直接講師に支払う。

5　実施機関の担う事項
（1）　講師に打診し内諾を得る。
（2）　講師および所属長に依頼文や礼状を送付する。
（3）　まなびぃネットふくい(福井県生涯学習情報ネットワークシステム)に掲載するとともに、広報チラシ、市町広報誌など様々な媒体を用いて広報する。その際、「福井ライフ・アカデミー共催」と記載する。
（4）　講座資料の作成、当日の会場設営や受付、司会進行等を行う。

## （１０）福井ライフ・アカデミー連携事業 実施要項

1　趣旨
この要項は、福井ライフ・アカデミー連携事業の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

2　連携の基準
連携の基準は、次のすべてを満たす事業とする。
（1）　福井県内で実施する事業であること。
（2）　国、県、市町もしくはこれらに準ずる公的機関、大学、専修学校等の教育機関または生涯学習の推進に資する団体が実施する事業であること。
（3）　歴史・文化、自然科学、芸術、スポーツ、現代社会の課題など、幅広い分野で県民の学習意欲に応える内容であること。
（4）　事業の形態は、講演、講座（実技、野外活動を伴うものを含む)、演劇・音楽・視聴覚作品（映画等)・芸術作品（美術・工芸等）の鑑賞（展覧）会とする（オンライン開催を含む)。また、これらに準ずるものと生涯学習センター所長が認める事業を含む。
（5）　居住市町等を特定せず、県民の誰もが参加できる事業であること。
（6）　社員、会員等特定の団体の構成員であることを参加要件とした事業でないこと。
（7）　免許や資格の取得を目的とした事業でないこと。
（8）　特定の思想や主義主張の支持拡大を目的とした事業でないこと。
（9）　政治活動や宗教活動、営利活動を伴う事業でないこと。
⑽　参加料を徴収する場合は、材料費や資料代等の実費を基本とし、参加者の負担軽減に努めていること。
⑾　参加者の年齢や性別等に制限を設ける場合は、事業内容から妥当と認められる理由があること。

3　事業の流れ
（1）　事業の連携を希望する実施機関は、「福井ライフ・アカデミー連携事業申込書 兼 情報提供用紙①（以下「①」という。)」または、「福井ライフ・アカデミー連携事業申込書 兼 情報提供用紙②（以下「②」という。)」を福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）に提出する。（4の（1）にある広報誌での広報と、４の（2）にあるオンラインでの広報の両方を希望する場合は、①と②の両方を、それぞれの締切日までに提出する。）

（2）　本部は内容を審査して連携の可否を決定し、連携が「否」と判断された場合のみ、申込みのあった機関に対し、申込みから１０日以内にその旨を通知する。

（3）　福井県生活学習館での広報ポスターの掲示やチラシの設置を希望する実施機関は、ポスター１枚とチラシ（枚数は適宜）を本部に提出する。なお、提出されたポスター、チラシは、残部等があっても返却はしない。

（4）　実施機関は、事業終了後、①または②の「参加者数」欄に参加者数を記載し、本部に提出する。

４　事業の広報

（1）　本部は、事業実施（開始）日の前月１日までに①が提出された場合は、広報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」に掲載し、広報する。

（2）　本部は、事業実施（開始）日の１か月前までに②が提出された場合は、提出から１週間後を目途に「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」に登載し、オンラインにより広報する。ただし、指定の登載開始日がある場合は、それに従って広報を開始する。なお、前記システムへの登載は、②の提出日から事業実施（開始）日までの期間が１か月未満である場合においても、その効果があると判断される場合には、可能な範囲で行うものとする。

（3）　本部は、３の（3）の提出があった場合、これを行う。ただし、ポスターの掲示については、掲示スペースに限りがあるため、可能な範囲で行うものとする。

（4）　実施機関は、可能な媒体を用いて広報に努める。広報の際は、可能な限り、福井ライフ・アカデミーの連携事業であることを併せて告知する。（印刷物には、可能な限り、「福井ライフ・アカデミー連携」と記載する。）

## （１１）福井ライフ・アカデミー共催講座協議会　開催要領

（目　的）

第１条　福井ライフ・アカデミー共催講座（多様化、高度化する県民の学習意欲に応えるとともに、地域振興等の推進に寄与するため、福井県内の各高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）の協力の下、これらの機関が有する優れた資源も活用して、福井県生涯学習センターと市町教育委員会等が連携し、県民向けに開催する講座）の効果的な実施に資するため、福井ライフ・アカデミー共催講座協議会（以下「協議会」という。）を開催する。

（協議事項）

第２条　協議会は、次に掲げる事項を協議する。

（1）　福井ライフ・アカデミー共催講座の企画および実施に関すること。

（2）　その他

（構　成）

第３条　協議会は、各高等教育機関の長から推薦のあった委員により構成する。

（運　営）

第４条　協議会は、福井県生涯学習センター所長からの出席依頼に基づき開催する。

２　協議会の議事を進行するため、委員の互選により議長を選出する。

３　協議会においては、必要に応じ、委員以外の関係者を出席させることができる。

（その他）

第５条　この要領に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は別に定める。

附　則

この要領は、平成２９年４月１日から適用する。

◆福井駅東口（フレンドリーバス　バス停）にてフレンドリーバスに乗車、生活学習館にて下車　徒歩１分
（生活学習館先回り約 13 分、こども歴史文化館先回り約 33 分、無料）
◆福井駅西口バスターミナル５番のりばにて、羽水高校線（60 系統）乗車、県産業会館・厚生病院にて下車　徒歩１分（約 15 分）


**福井県生活学習館　ユー・アイ　ふくい**

〒918-8135　福井県福井市下六条町 14-1
TEL 0776-41-4200(代表)
0776-41-4202(男女参画・企画管理課)
0776-41-4206(生涯学習推進課)
FAX 0776-41-4201
E-mail　seikatug@pref.fukui.lg.jp
ホームページ　http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/

〔施設利用申込専用〕

TEL 0776-41-4203　　FAX 0776-41-4210
E-mail　yu-ai@pref.fukui.lg.jp

**発行　福井県生活学習館（ユー・アイ　ふくい）**
**印刷　社会福祉法人 福授園　福授園 鳥羽事業所**
この印刷物は、社会福祉法人 福授園 が障がいのある方の就労を支援する目的で運営している 福授園 鳥羽事業所印刷部 において制作しています。